



TeleScript AV

ユーザーズガイド

作成：アテイン株式会社

Attain <http://www.attainj.co.jp/>

目次

1. はじめに	5
プログラムの開始	5
TeleScript AV のインターフェイスと各種アイコン	5
2. 基本的な操作方法	9
スクリプトファイルを開く	9
文字のフォント調整	10
色を反転させる (Inversing the Color)	12
プロンプター再生	13
3. 文章の編集	15
編集モードへの切り替え	15
文章ファイルの種類	16
メニューバーの「File(ファイル)」内の機能	17
New/ Open (新規作成/ファイルを開く)	17
Save/ Save as (上書き保存/名前をつけて保存)	18
メニューバーの「Edit(編集)」内の機能	19
Undo/ Redo (一段階戻る/進む)	19
Cut, Copy, Paste (切り取り、コピー、貼り付け)	19
Find & Replace (検索と置換)	19
メニューバーの「Format Menu (フォーマットメニュー)」内の機能	21
「Font dialog (フォントダイアログ)」	21
「Glow/Shrink Font (フォントの拡大/縮小)」	22
テキストスタイルの編集	22
「Attributes(テキスト属性の編集)」	23
「Allignment (文字揃えの編集)」	23
「Line Spacing (行間隔の編集)」	24
「Paragraph... (段落の設定)」	25
「Inverse (色の反転)	27
文字の色とウィンドウの色の編集	28
Runlist (再生リスト)	30
再生リストを有効にする	30
Runlist (再生リスト) ウィンドウの表示/非表示	31
Runlist ウィンドウの各種機能	32
メニューバーの「File(ファイル)」内の機能	33
New Runlist (新規再生リスト)	33
Load Runlist (再生リストを読み込む)	34
Save Runlist/ Save Runlist As (再生リストを上書き保存/名前をつけて保存)	35

メニューバーの「Prompter (プロンプター)」内の機能.....	36
PRV (戻る) / NXT (進む)	36
文章を再生する (プロンプター再生)	37
Prompt Mode (プロンプター再生モード) への切り替え	37
プロンプターをコントローラーで操作する.....	38
・ダイアログコントロール.....	41
・マウスコントロール.....	43
・シリアルコントローラー.....	44
メニューバーの Prompter (プロンプター)内のコマンド.....	45
・モードの切替 (Prompter/Editor).....	45
・GO/STOP コマンド.....	46
・前/次 (PREV/NXT)	46
メモリ/ブックマークの呼び出し MEM/RCL.....	47
ブックマーク.....	48
トップコマンド.....	49
マウスコントロール.....	50
印刷について.....	52
Page Setup (ページのセットアップ)	52
Print Preview (プリントプレビュー)	55
スクリプトを印刷する.....	56
Preferences (詳細設定)	57
Script1 (スクリプトの設定 1)	57
Script 2 (スクリプトの設定 2)	58
Misc (さまざまな設定)	59
Network (ネットワーク)	60
Prompter (プロンプター)	61
ログの設定.....	62
Advanced Tools (便利なツール)	63
Spell Check (スペルチェック)	63
Check Spelling Dialog (スペルチェックダイアログボックス)	64
Options Dialog (オプションダイアログ)	66
Dictionaries button (辞書ダイアログ)	69
New Dictionaries Dialog (新規辞書ダイアログ)	72
Timer (タイマー).....	74
Zoom (ズーム)	75
Full Command Reference (コマンド参照)	76
Context Menu (コンテキストメニュー)	76
キーボードコマンド.....	77

1. はじめに

プログラムの開始

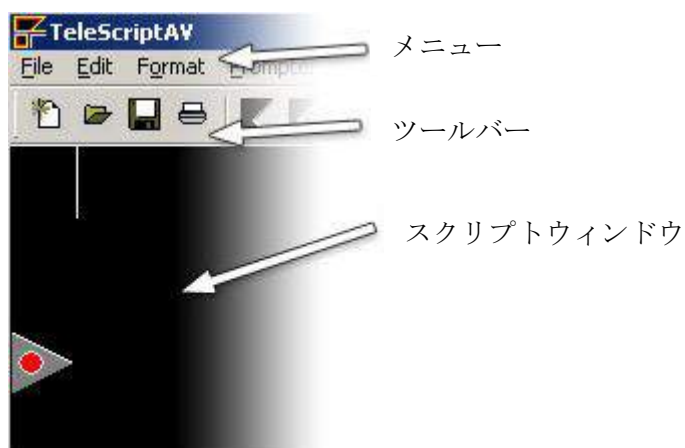
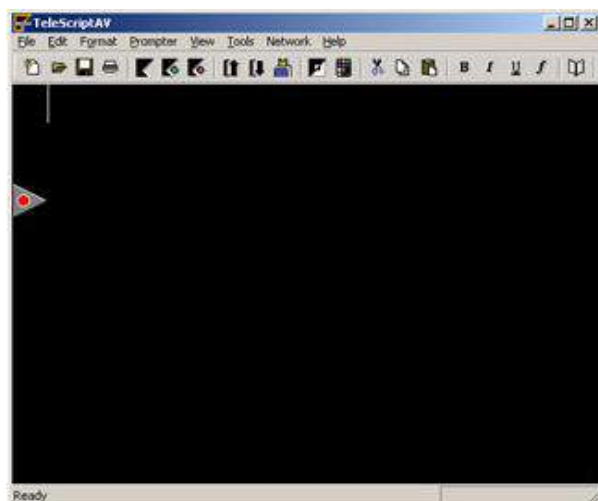
TeleScript AV のインストールが完了したら、デスクトップ上にショートカットアイコンと、スタートメニューアイコンが作成されます。もしアイコンを消してしまったら、インストールフォルダーからファイルを開くことができます。

デスクトップ上のアイコンをダブルクリックし、プログラムを開始してください。

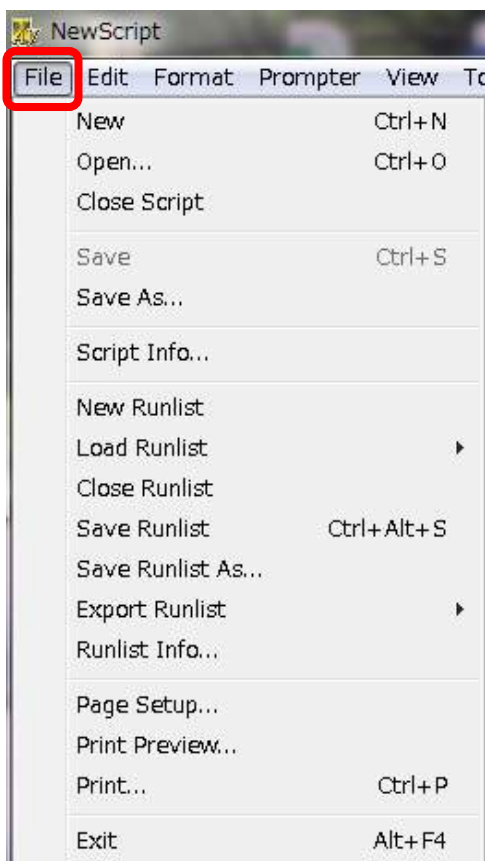


TeleScript AV のインターフェイスと各種アイコン

プログラムが起動すると、下記の画面が表示されます。

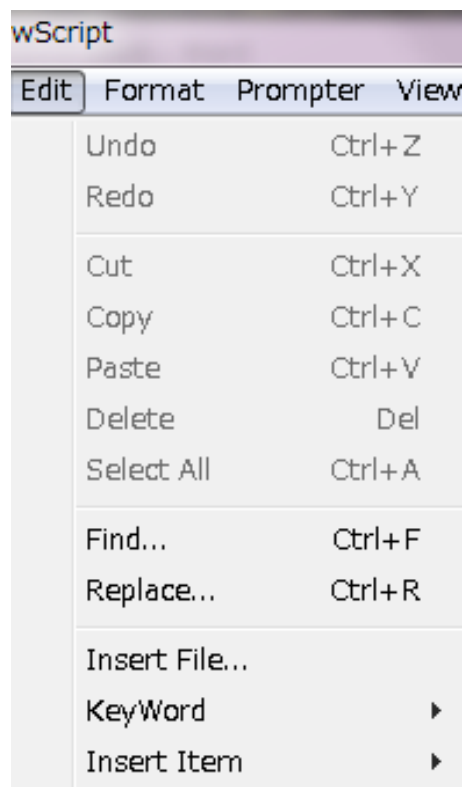


メニューバー「File」タブ



- New: 新規作成
- Open: 開く
- Close Script: スクリプトを閉じる
- Save: 上書き保存する
- Save As: 名前をつけて保存
- Script Info: スクリプト情報
- New Runlist: 新規再生リスト
- Load Runlist: 再生リストを読み込む
- Close Runlist: 再生リストを閉じる
- Save Runlist: 再生リストを上書き保存
- Save Runlist As: 再生リストを名前をつけて保存
- Export Runlist: 再生リストのエクスポート
- Runlist Info: 再生リスト情報
- Page Setup: ページのセットアップ
- Print Preview: プリントプレビュー
- Print: 印刷
- Exit: ソフトウェアの終了

メニューバー「Edit」タブ



- Undo: 一段階戻る
- Redo: 一段階進む
- Cut: 切り取り
- Copy: コピー
- Paste: 貼り付け
- Delete: 削除
- Select All: 全選択
- Find: 検索
- Replace: 置換
- Insert File: ファイルの挿入
- KeyWord: キーワード
- Insert Item: アイテムの挿入

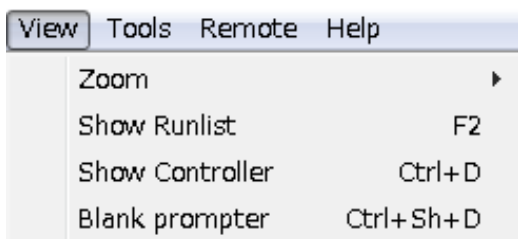
メニューバー「Format」タブ

Format	Prompter	View	Tools	Remote	
Font					Font: フォント
Bold			Ctrl+B		Bold: 太字
Italic			Ctrl+I		Italic: 斜体
Underline			Ctrl+U		Underline: 下線
Normal			Ctrl+Sh+SPACE		Normal: ノーマル
Attributes					Attributes: テキスト属性の編集
Alignment					Alignment: 文字の位置
Line Spacing					Line Spacing: 文字の間隔
Paragraph...					Paragraph: パラグラフの設定
Inverse			Ctrl+Sh+V		Inverse: 色の反転
Colors...					Colors: 文字の色

メニューバー「Prompter」タブ

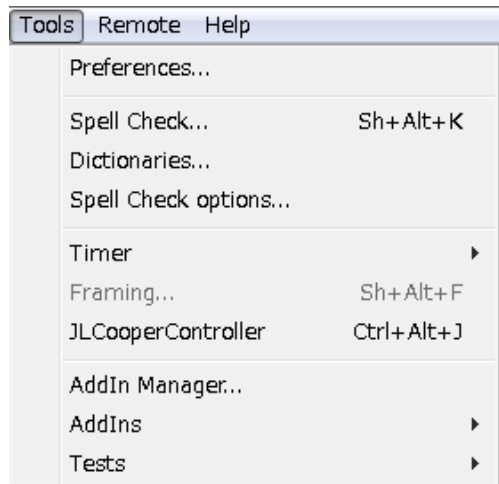
Prompter	View	Tools	Remote	ト	
Prompter			F5		Prompter: プロンプター再生画面に切替
Editor			F3		Editor: 修正画面に切替
Go			F6		Go: 再生
Stop			F7		Stop: 停止
Prev			Sh+F8		Prev: プレビュー
Next			Sh+F9		Next: 再生リスト内の次の文章に移動
MEM					MEM: MEM マーカーについて
RCL					RCL: MEM マーカーが設置された場所にジャンプ
Bookmark					Bookmark: ブックマーク
Top			Ctrl+Home		Top: スクリプトの一番上に移動
ScriptEnd					ScriptEnd: スクリプトの一番最後に移動
Mouse Scroll			Ctrl+F6		

メニューバー「View」タブ



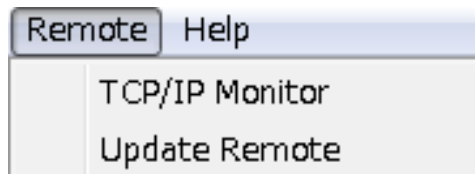
- Zoom: ズーム
- Show Runlist: 再生リストを表示
- Show Controller: コントローラーを表示
- Blank prompter: スクリプトを非表示にする

メニューバー「Tools」タブ



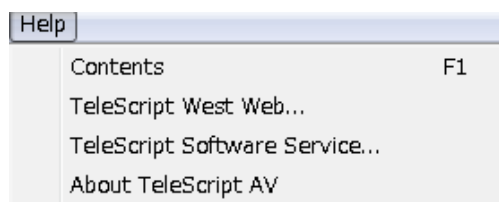
- Preferences: 詳細設定
- Spell Check: スペルチェック
- Dictionaries: 辞書
- Spell Check options: スペルチェックオプション
- Timer: タイマー
- Framing: フレーミング
- JLCooperController: JLCooperController
- AddIn Manager: アドインマネージャー
- AddIns: アドイン
- Tests: テスト

メニューバー「Remote」タブ



- TCP/IP Monitor: TCP/IP モニター
- Update Remote: 遠隔操作のアップデート

メニューバー「Help」タブ



- Contents: ヘルプガイド
- TeleScript West Web: TeleScript West 社ホームページ
- TeleScript Software Service: TeleScript ソフトウェアサービス
- About TeleScript AV: TeleScript AV について

2. 基本的な操作方法

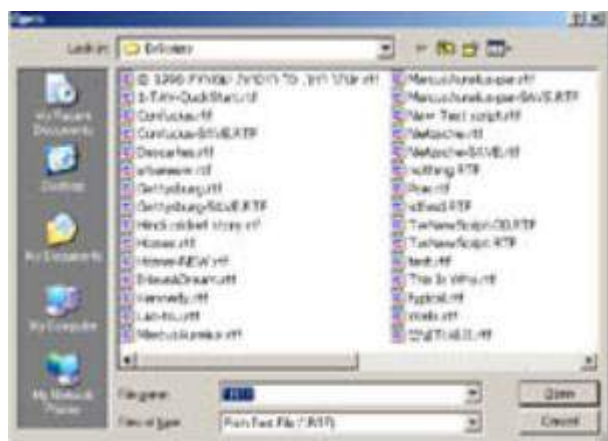
スクリプトファイルを開く

TeleScript AV が開始できたら、空白のスクリプトが表示されます。
ワード同様、文字を直接入力することができます。

ファイルを開く場合は、右上の「File(ファイル)」タブから、「Open(開く)」をクリックしてください。

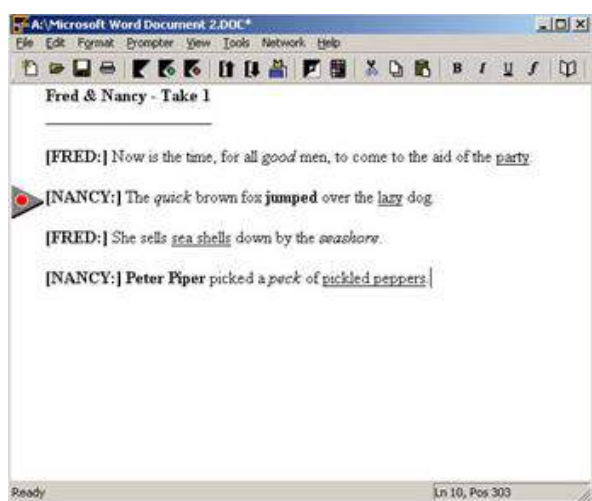


次のような画面が表示されます。読み込むファイルを選択してください。



《対応形式：リッチテキスト形式》

文章が、ソフトウェア画面上に表示されました。



文字のフォント調整

文章をロードできたら、プロンプター用に編集しましょう。

ここでは、文章全体のフォントの変更と、サイズの変更をします。

ソフトウェアインターフェイス上部、「**Font**」ダイアログから「Font select...」を選択してください。



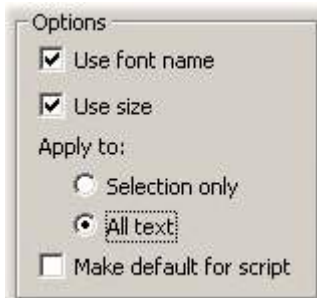
フォントダイアログボックスを開くと、下記の画面が表示されます。



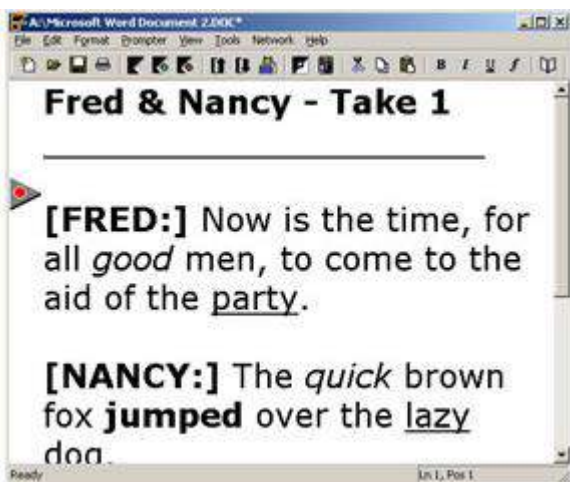
フォントをフォントリスト(**Font**)から選択してください。そしてサイズリスト(**Size**)より、サイズを選択してください。ここでは、フォントは「Verdana」、サイズは「24ポイント」を選択します。



Options (オプション) の下に、**Use font name**(フォントの名前を使用する)、**Use size** (フォントのサイズを使用する) のチェックボックスに、チェックが入っているか確認してください。
そして、**All text** (すべてのテキストに適応させる) にチェックを入れてください。



「OK」をクリックすると、ダイアログボックスが閉じます。
文章のフォントが Verdana になり、サイズが 24pt に変更されました。



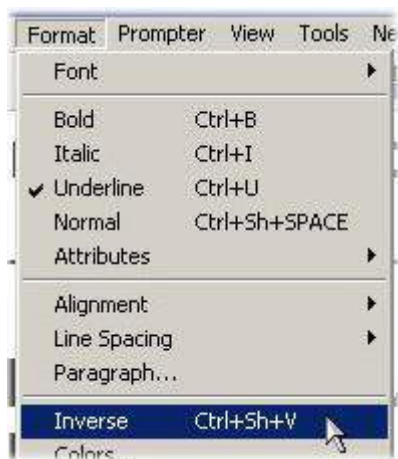
色を反転させる (Inversing the Color)

プロンプターでは、黒い背景に白い文字で表示することがほとんどですが、ワードファイルを読み込むと、白い背景に黒い文字で表示されてしまいます。

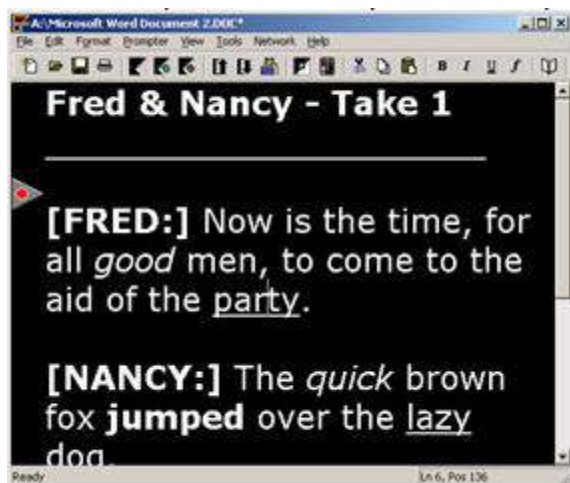
この解決方法として、色の反転機能 (Inverse) を使用します。

まず、文章の任意の場所をマウスでクリックし、すべての選択を解除してください。

「**Format** (フォーマット)」から、「**Inverse** (反転)」をクリックしてください。



白背景に黒文字だった文章が、黒背景に白文字に色が反転されました。



プロンプター再生

プロンプター再生用に編集できたら、

Prompt mode(プロンプターモード)にし、スクロールしてみましょう。

もしウィンドウが全画面表示でなければ、右上の大画面表示ボタンをクリックして、全画面表示にしてください。



キーボードの<F5>キーを押して、プロンプターモードに切り替えてください。



マウスのスクロールで、スクロールをする場合は、マウスのホイールをクリックしてください。

(あるいは、<Ctrl+F6>を押してください)、マウスのカーソルがダイヤモンド型に変わり、スクリプトウィンドウの矢印が黄色に変わります。スクロールがアイドルリング状態であることを指します。



マウスのカーソルを、元ある位置から上に動かすと、カーソルが上向き三角形のポインタに変わります。スクリプトウィンドウの矢印が緑に変わります。「スクロール中」であることを指します。文章が下から上にスクロールされます。



スピードは、マウスカーソルを動かした分だけ速くなります。さらに早くしたい場合は、大きく動かします。マウスカーソルを下に動かすと、スクロールは上から下にスクロールします。



マウスのボタンのどれかを押すと、スクロールがストップします。文章の最初の行に戻るには、**<Ctrl + Home>**を押してください。**Edit**（編集）モードに戻るには、**<F3>**を押してください。

3. 文章の編集

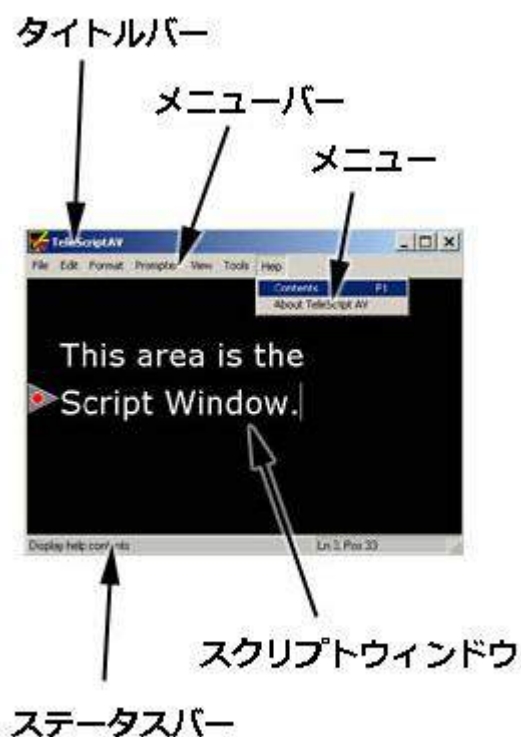
編集モードへの切り替え

TeleScript AV を開始すると、最初は **Edit mode(編集モード)** の画面が表示されます。編集モードでは、メインのメニューバー、スクロールバー、などの編集機能が表示されています。右図は、さまざまな編集用の機能の名称です。

編集モードでは、新しく文章を作成したり、ディスク上の文章ファイルを開いたりすることができます。テキストの入力や修正、フォントの調整やテキストの属性を調整することができ、ブックマークの挿入もできます。

編集モードに切り替えるには、2つの方法があります。

- ・メニューバーの「**Prompter(プロンプター)**」から、「**Editor (編集)**」をクリックする。
- ・**<F3>**キーを押す



文章ファイルの種類

TeleScript AV では、リッチテキスト形式(RTF)の文書ファイルを開くことができます。
開きたい文章が、リッチテキスト形式ではない場合は、下記のいずれかの手順をとってください。

《手順1》

1. TeleScript AV に表示したい文章ファイルを開く
2. 「名前をつけて保存」
3. 保存ファイルの種類から、「リッチテキスト形式(RTF)」を選択し、保存を完了させてください。

《手順2》

1. TeleScript AV に表示したい文章ファイルを開く
2. 表示したい文章をコピーし、TeleScript AV 上に直接貼り付けをする。

メニューバーの「File(ファイル)」内の機能

New/ Open (新規作成/ファイルを開く)

プロンプター表示用に編集したフォントや、文字のサイズ、色、ブックマークなどのデータをファイル形式で保存することができます。

TeleScript AV 内にて作成された文章や、他のプログラムで作成された文章（リッチテキスト形式）を、TeleScriptAV 上にスクリプトとして開くことができます。

TeleScript AV 内での文章の作成

1. **File (ファイル)** メニューから、**New (新規作成)** をクリックします。
2. 他の文章を表示している場合、New (新規作成) ボタンをクリックすると、現在開いている文章を保存するように求められ、保存画面ダイアログが表示されます。

Runlist Mode (再生リストモード) の場合には、新しい文章が再生リストの一番下に追加されます。

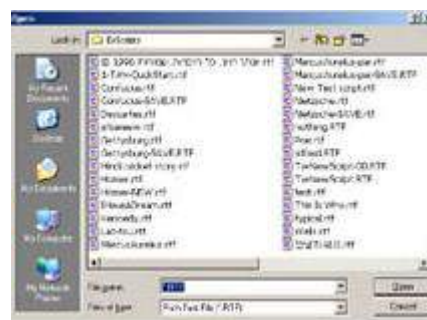
新しい文書を作成したら、”Save (保存)” ボタンを押すまでは、保存されませんのでご注意ください。詳しくは、次ページの「保存について」をご覧ください。

ディスクから新しい文章を開く場合、

1. **File (ファイル)** メニューから、**Open (開く)** をクリックします。
または(Ctrl + o)を押します。
2. **Open** ダイアログボックスが表示されました。開きたい文書ファイルを選択してください。
3. 文章ファイルを選択したら、「開く」ボタンをクリックしてください。

キャンセルする場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

Runlist Mode (再生リストモード) の場合には、新しい文章が再生リストの一番下に追加されます。



Save/ Save as (上書き保存／名前をつけて保存)

Save (上書き保存)

Save (上書き保存) コマンドでは、現在保存されているファイル名、ファイルの場所で、上書き保存されます。(未保存の場合は、**Save as (名前をつけて保存)** の手順を踏む必要があります。)

1. **File (ファイル)** メニューから、**Save (保存)** をクリックします。または(**Ctrl + s**)を押します。
2. まだ保存されていないファイルを閉じる場合、保存ダイアログボックスが表示され、保存名、ファイル形式が表示されます。

Save As (名前をつけて保存)

Save As (名前をつけて保存) では、保存ダイアログボックスが表示され、ファイル名や、ファイルの保存場所を指定することができます。



Save As (名前をつけて保存) ダイアログボックスを開くためには、

1. **File (ファイル)** メニューから、**Save As (名前をつけて保存)** をクリックします。
2. 名前をつけて保存ダイアログボックスが表示されます。ファイル名や、ファイルを保存する場所が指定できます。
3. 「**保存**」ボタンをクリックして、保存を完了させてください。
保存をやめる場合は、「**キャンセル**」ボタンをクリックしてください。

メニューバーの「Edit(編集)」内の機能

Undo/ Redo (一段階戻る／進む)

「Undo(一段階戻る)」では、文章に対して変更を行った場合、作業を一段階前の状態に戻す機能です。100回分戻ることができます。

「Redo (進む)」では、Undo で一段階戻したものを、一段階元に戻す機能です。

Cut, Copy, Paste (切り取り、コピー、貼り付け)

選択した文字を、切り取り、コピー、貼り付けを行うことができます。

Find & Replace (検索と置換)

文章内から特定の言葉を検索、置換を行うことができます。

Find(検索)

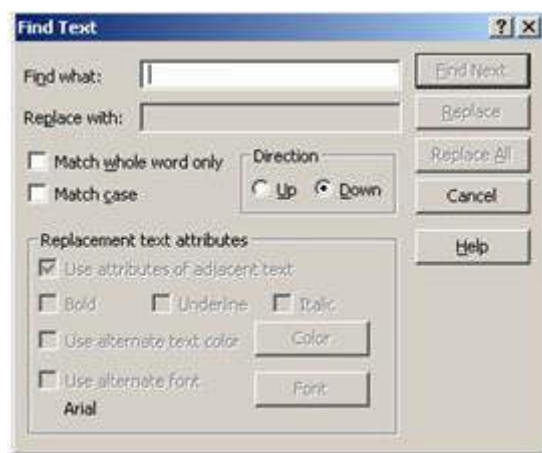
Find(検索)コマンドをクリックすると、Find(検索)ダイアログボックスが開きます。

検索したい特定の文字、言葉を「Find what:」のバーに入力します。

Up (上へ) と Down (下へ) のコマンドを選び、検索ワードを見つける方向を選ぶことができます。

Find Next ボタンをクリックすると、検索したい言葉の位置へ移動します。

さらに、「Match whole word only (完全に一致する単語のみ検索)」、「Match case (大文字・小文字を識別して検索)」などにチェックを入れることによって、より精度の高い検索をすることができます。



なお、Find(検索)ダイアログボックスが開いている間も、文章の編集、スクロール、保存などすべての操作を行うことができます。

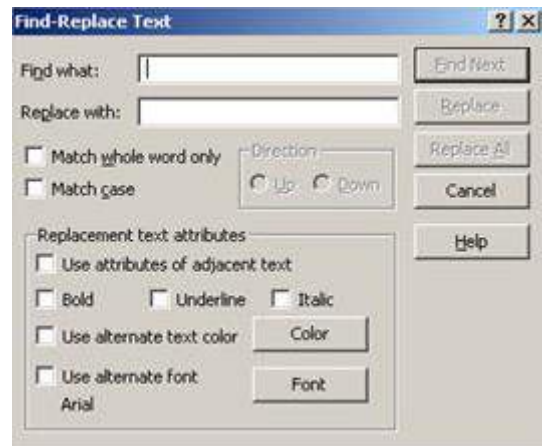
Find(検索)ダイアログボックスの開き方

- Edit(編集)から Find (検索) をクリックする
- あるいは
- <Ctrl+F>を押す

Replace (置換)

Find(検索)ダイアログボックスの中に、置換機能があります。検索したい単語を、「**Find what:**」に入力し、置換したい言葉を「**Replace with:**」に入力します。

細かく検索する方法については、「**Find (検索)**」の項目をご参照ください。



Insert File (ファイルの挿入)

現在開いている文章ファイル内に、別の文章ファイルを挿入する際、「**Insert File (ファイルの挿入)**」コマンドを使用します。「**Open (開く)**」コマンドと似ていますが、「**Insert File (ファイルの挿入)**」では、文中のマウスポインタがある位置に、文章ファイルを挿入することができます。

Insert File (ファイルの挿入) コマンドの使用法

1. 文章ファイルを挿入したい場所に、マウスポインタを置きます。
2. 「**Edit (編集)**」メニューから、「**Insert File (ファイルの挿入)**」を選択します。
3. ダイアログボックスから、開きたい文章ファイルを選択し、「**Open (開く)**」をクリックします。
4. マウスポインタの位置に、選択した文章が挿入されました。

メニューバーの「Format Menu (フォーマットメニュー)」内の機能

TeleScript AV では、フォントやフォントサイズを変更できます。選択箇所のみの変更や、全体の変更も行うことができます。

「Font dialog (フォントダイアログ)」

- **Format (フォーマット)** メニューから、「Font (フォント)」 > 「Font Select (フォントの選択)」の順にクリックします。



- **Font (フォント)**
フォントのスタイル名が表示されます。リストから選ぶか、フォントのスタイル名を入力し、探すこともできます。

- **Size (サイズ)**
フォントのサイズが表示されます。リストから適切なフォントサイズを選択するか、数値を直接入力してください。

- **Use font name (フォント名を使用する)**
ボックスにチェックを入れると、文章にフォントを適用できます

- **Use size (サイズを使用する)**
ボックスにチェックを入れると、文章にサイズを適用できます。

- **Apply to (適用する)**
「**Selection only (選択箇所のみ)**」を選択すると、選択された箇所のみフォントやサイズの変更が適用されます。「**All text (すべての文章)**」を選択すると、文章全体のフォントやサイズが変更されます。

- **Make default for script (初期設定に登録する)**
ボックスにチェックを入れると、設定したフォントやサイズが、初期設定として登録されます。この設定で、すべてのテキストが消えても、デフォルトとして使用することができます。この設定は、*Preference* 内の *default font (フォントの初期設定)* には影響しません。

- **Sample (サンプル)**
ウィンドウ内で、設定したフォントのプレビューが表示されます。

- **Script (スクリプト)**
外国語の設定をすることができます。

- **OK (適用)**
すべてのフォントスタイルの変更を適用させます。

Cancel (キャンセル)
テキストの変更をせずに、キャンセルをします。

「Glow/Shrink Font (フォントの拡大/縮小)」

Glow Font (文字の拡大) と **Shrink Font** (文字の縮小) コマンドによって、選択した箇所や文書全体の文字サイズを変えることができます。

(何も選択されていない場合、文書全体の文字の大きさが変わります)

Glow Font (文字の拡大) の使い方

1. 文字の大きさを変えたい箇所を選択します。文書全体の大きさを変える場合は、何も選択しないでください。
2. **Format** (フォーマット) メニューで、**Font** (フォント) をクリックし、**Grow Font** (文字の拡大) をクリックするか、**<Ctrl+0>**を押してください。

Shrink Font (文字の縮小) の使い方

1. 文字の大きさを変えたい箇所を選択します。文書全体の大きさを変える場合は、何も選択しないでください。
2. **Format** (フォーマット) メニューで、**Font** (フォント) をクリックし、**Shrink Font** (文字の縮小) をクリックするか、**<Ctrl+0>**を押してください。

テキストスタイルの編集

TeleScript AV はワードプロセッサのように、大きく 3 つのテキストスタイルを適用することができます。

Bold (ボールド)、**Italic** (イタリック)、**Underline** (下線) です。

また、**Normal** (ノーマル) コマンドをクリックすると適用したスタイルを元に戻します。現在選択している箇所に、スタイルの変更を適用できます。

フォーマット	キーボード	効果
Bold (ボールド)	<Ctrl + B>	太字にし、文字を強調します
Italic (イタリック)	<Ctrl + I>	文字を斜めにします
Underline (下線)	<Ctrl + U>	文字に下線を引きます。
Normal (ノーマル)	<Ctrl + Shift + Space>	設定したすべてのテキストスタイルを解除します。

「Attributes(テキスト属性の編集)」

通常のテキストスタイルの編集に加えて、さらに細かくテキストスタイルを編集することができます。

テキスト属性の編集方法

1. テキストの属性を変えたい箇所を選択します。
2. **Format** (フォーマット) メニューで、**Attributes** (属性) をクリックします。
3. **Attributes** のサブメニューで、「**Allcaps** (大文字)、**Revised** (下線)、**Superscript** (上付き文字)、**Subscript** (下付き文字)、**Strikeout** (取り消し線)、**Protected** (保護)、**Hidden** (非表示)」の中から、持たせたいテキスト属性を選択します。

(注意: **Format** メニューの **Normal** ボタンをクリックすると、編集したテキストの属性が全て解除されるので注意してください。)

属性	効果
ALLCAPS (大文字)	文字を全て大文字にします。
Revised (下線)	文字に下線を引きます。
Superscript (上付き文字)	文字を上付き文字にします。
Subscript (下付き文字)	文字を下付き文字にします。
Strikeout (取り消し線)	文字に取り消し線を引きます。
Protected (保護)	選択した箇所の文字を保護し、編集をできないようにします。
Hidden (非表示)	文字を非表示設定にします。

「Alignment (文字揃えの編集)」

文章を表示する位置を設定変更できます。

Left	文章を左詰めに配置する
Center	文章を中央に配置にする
Right	文章を右詰めに配置にする

「Line Spacing (行間隔の編集)」

テキストの垂直方向の行間隔を数値化して設定することができます。行間隔は段落毎に設定され、次項の「段落の編集」と同様に編集します。

行間隔の数値は、「1」なら単一の間隔、「2」なら二倍の間隔、…というように、現在のフォントの高さの比率として表わしています。

Line spacing (行間隔) の設定方法

1. 行間隔を編集する文章の部分を選択します。
2. **Format (フォーマット)** メニューの、**Line spacing(行間隔)** をクリックし、**1**、**1.25**、**1.5**、**1.75**、**2** の中から選択します。

Line spacing メニューは [Context menu \(コンテキストメニュー\)](#) から開くこともできます。

また、以下の三通りの行間隔設定はキーボード操作で直接設定することもできます。

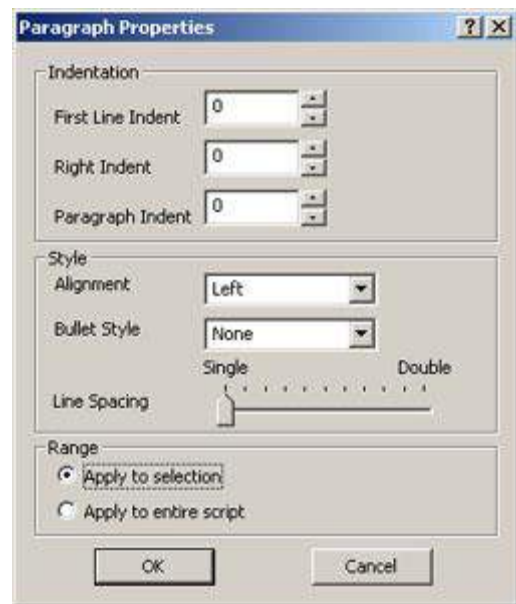
<**CTRL + 1**>で「1」、<**CTRL + 5**>で「1.5」、<**CTRL + 2**>で「2」に設定できます。

「Paragraph... (段落の設定)」

Paragraph Properties (段落設定) ダイアログ (右図参照) で、文字のインデント (字下げ)、アライメント (字揃え)、行頭文字 (黒点) や行間隔の設定など、スクリプト全体の設定ができます。

「**Paragraph Properties ダイアログ**」の開き方
下記のいずれかの方法で開くことができます。

- **Format (フォーマット) メニュー**の **Paragraph(段落)**をクリック。
- **Context menu (コンテキストメニュー)** の **Paragraph** をクリック。



Paragraph Properties ダイアログ詳細

• **First Line Indent (行の最初にインデントを入れる)**

それぞれの段落の頭の行にインデント (字下げ) をつけます。この数値が 20 につき一文字分のインデントとなります。この数値がマイナスの時、「**Paragraph Indent**」の値は「**First Line Indent**」の正負が反転した値になります。例えば、「**First Line Indent**」の値が-300 の場合、「**Paragraph Indent**」の値が 300 になり、最初の行のインデント (字下げ) が 15 文字になります。

• **Right Indent (右側にインデントを入れる)**

スクリプトの右側にインデントを挿入します。**First Line Indent** 同様、この数値 20 につき 1 文字分のインデントとなります。スクリプトを左揃えに設定しているとき、この数値分だけ、行の右側が空白になります。例えば、この値を 400 に設定すると、行の右側から 20 文字分には空白ができるようになります。

• **Paragraph Indent (パラグラフインデント)**

段落にインデント(字下げ)を付けます。この値が 20 につき 1 文字分のインデントとなります。例えば、この値を 200 に設定すると、段落が 10 文字分字下げされます。

• **Alignment (文字揃えの編集)**

Format (フォーマット) メニューにある「**Alignment (文字揃えの編集)**」と同様です。

• **Bullet Style (バレットスタイル)**

行のはじめに、点・文字・数字・ローマ数字をつけることができます。
行を変えると、その行の最初にも新しく行頭文字が入ります。

- **Line Spacing** (行間隔の編集)

テキストの行間隔の設定をできます。**Format** (フォーマット) メニューの [Line spacing](#) よりも、より細かく設定することができます。

- **Range** (範囲)

設定の適用範囲を、以下の 2 つから選択します。

- 「**Apply to selection**」・・・選択した文字のみにここでの設定を適用します。
- 「**Apply to entire script**」・・・スクリプト全文にここでの設定を適用します。

- **OK** (オーケー)

設定の変更を適用し、ダイアログを閉じます。

- **Cancel** (キャンセル)

設定の変更を適用せず、ダイアログを閉じます。

「Inverse（色の反転）」

Inverse（反転）コマンドによって、選択した文字と背景の色を即座に反転させることができます。
(通常、白背景(FG)に黒文字(BG)が、黒背景(BG)に白文字(FG)に変わります。)

色の反転のさせ方


1. 色を反転させたい部分を選択したまま、**Inverse** ボタンをクリックしてください。
文字を選択せずにクリックすると、全体が適用されます。
2. **Format**（フォーマット）メニューの **Inverse**（インバース）をクリックします。
また、**TeleScript** コントローラーの 10 個のボタンの内の **黒色** のボタンを押すか、キーボードで **<CTRL + SHIFT + V>** を押すことでも、色を反転させることができます。

文字の色とウィンドウの色の編集

右図のように、スクリプト内では「文字の色」、「背景の色」、「ウィンドウの色」の3つの色相に分かれています。

これらの色は「Color dialog (カラーダイアログ)」(以下の説明を参照)で設定します。
選択箇所、あるいは文章全体を設定できます。

Color dialog (カラーダイアログ) の開き方
以下の、いずれかの方法で **Color dialog** を開くことができます。

- **Format (フォーマット) メニューの Colors (色の設定)** をクリック。
- **Context menu (コンテキストメニュー) の Colors (色の設定)** をクリック。
- **Toolbar (ツールバー) の colors icon** をクリック。 

以下に、**color dialog (カラーダイアログ)** の各部について説明します。

• Basic Color (ベーシックカラー)

基本的によく使われる色を表示しています。
色をクリックして選んでください。

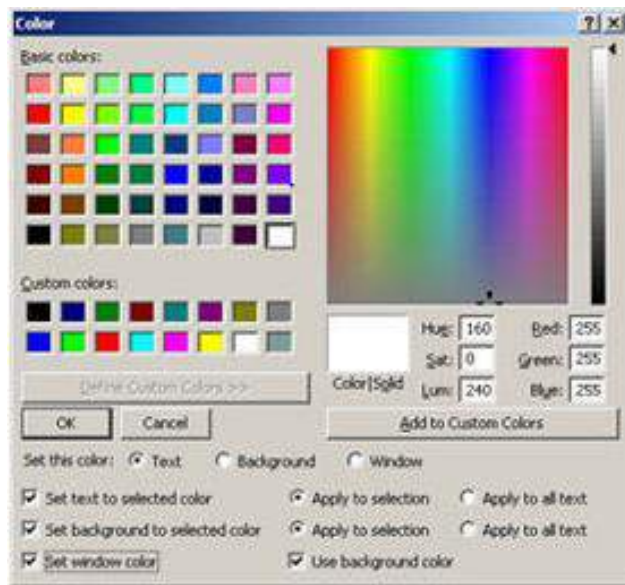
• Custom colors (カスタムカラー)

一度選んだ色を、Custom colors のリストに追加しておくことができます。色を選んだ状態で、「Add to Custom Colors (カスタムカラーに追加) ボタンをクリックすることで、Custom color のリストに表示されます。

• Color matrix (カラー・マトリックス)

現在選択している色が、右側のパネルに選択されています。右側にある三角矢印のスライダーで、色の明るさを調節できます。

また、「Hue (色調)」、「Sat (位置)」、「Lum (明度)」、「Red (赤)」、「Green (緑)」、「Blue (青)」に、値を直接入力して細かな色の調整をすることもできます。



- **Color|Solid** (カラー・ソリッド)

現在選択している色を表示しています。

- **Set this color** (色をセットする)

「**Text** (文字)」、「**Background** (背景)」、「**Window** (ウィンドウ)」の内、選択した色を設定する部分を選択します。これら3つのボタンは下の「**Set ~ to selected color**」のチェックボックスにチェックが入っている時に有効になります。

- **Set text to selected color** (文字の色を設定)

選択した色を、文字色に適用します。「**OK**」をクリックすると、選択した色が文字に反映されます。右にある「**Apply to selection** (選択した部分のみ色付け)」、「**Apply to all text** (すべての文字に色付け)」のボタンで、色を変える文字の範囲を指定します。

- **Set background to selected color** (背景の色を設定)

選択した色を、背景色に適用します。「**OK**」をクリックすると、選択されている文字の背景に任意の色付けがされるようになります。「**Apply to selection**」、「**Apply to all text** (すべての文字の背景に色付け)」のボタンで、色を変える背景の範囲を指定します。

- **Set window color** (ウィンドウの色を設定) にチェックが入っているとき

「**OK**」をクリックした際に、選択されているウィンドウ全体に任意の色付けがされるようになります。

- **OK** (オーケー)

設定を適用し、カラーダイアログを閉じます。

- **Cancel** (キャンセル)

設定を破棄し、カラーダイアログを閉じます。

Runlist (再生リスト)

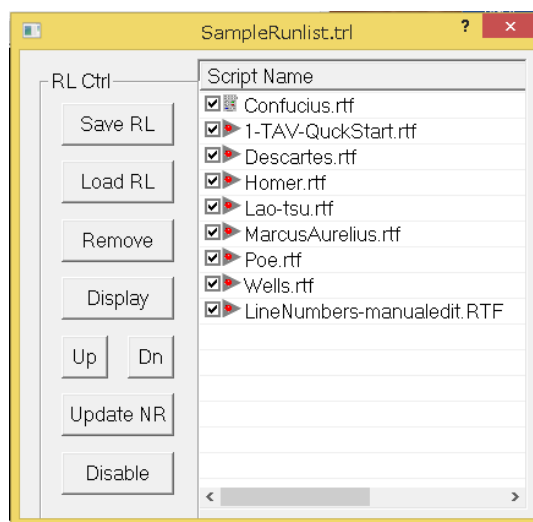
再生リストを有効にする

初期インストール時、TelescriptAV は、*single-script* (シングルスクリプト) 機能で稼働しており、一度に1つの文章ファイルのみ、読み込み・プロンプター表示を行います。

[Preferences \(詳細設定\)](#) ダイアログ内の *Runlist* (再生リスト) という機能を有効にすれば、連続して複数のファイルの再生をさせることができ、そのリストは、**TRL ファイル**の形式で保存・読み込みがされるようになります。

Runlist を有効にする方法

1. 画面上部 **Tools** (ツール) メニューの、**Preferences...** (詳細) をクリックします。
2. **Preferences** (詳細設定) ダイアログが表示されます。
「Misc」タブをクリックします。
3. 「Runlist」の下にある、「Use runlist (再生リストを使用する)」のボタンにチェックを入れ、「OK」をクリックします。
4. 詳細設定のダイアログが閉じ、**Runlist** ウィンドウが表示されます。(右図参照)



Runlist ウィンドウを示すとともに、**Runlist(再生リスト)機能**が有効になり、ダイアログで開いている複数のファイルを開くことができるようになります。

Runlist（再生リスト）ウィンドウの表示／非表示

Runlist（再生リスト）ウィンドウは、プロンプター表示をする全てのスクリプトの順番を表示しています。

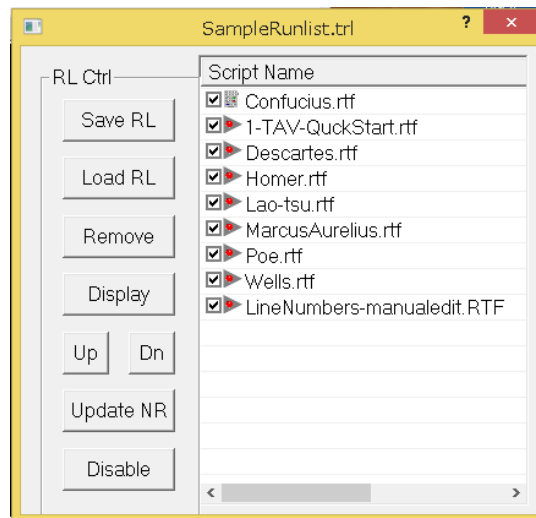
そのリストは **Runlist** コマンドから、表示・非表示などの変更をすることができます。

Runlist ウィンドウを表示させる

・画面上部の、**View**（ビュー）メニュー内の「**Runlist**」をクリックするか、<F2>キーを押します。

Runlist ウィンドウを非表示にする

・画面上部の、**View**（ビュー）メニュー内の、「**Runlist**」をクリックするか、Runlist ウィンドウ右上の「X」をクリックします。



Runlist の自動非表示

Runlist ウィンドウは、プロンプター再生されている際に、自動的に非表示になります。

再び編集モードに戻った時に、自動的に表示されます。その設定は [Preferences（詳細設定）](#) で変更できます。

Runlist の自動非表示設定の仕方

1. **Tools**（ツール）メニューの「**Preferences（詳細設定）**」をクリックします。
2. **Preferences** ダイアログの「**Misc**」タブをクリックします。
3. 「**Runlist**」の下の「**Auto hide for prompting（プロンプト時自動的に非表示）**」にチェックを入れ、「**OK**」をクリックします。

Runlist ウィンドウの各種機能

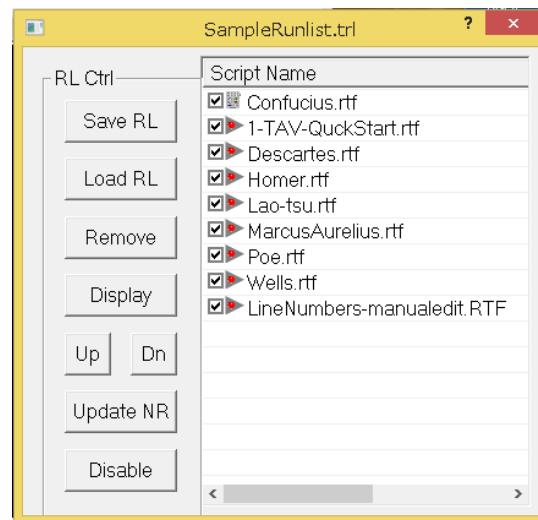
Runlist ウィンドウは、指示された文章ファイル名が順番に表示されています。

ウィンドウの各機能については下記をご参照ください。

・アイコン

リストの左にあるアイコンは、文章ファイルの状態を表しています。

コントローラーのアイコンが付いているスクリプトファイルは、現在のスクリプトウィンドウに表示されている文章になります。それ以外は、赤い矢印のマークが表示されています。



・ファイル名

文章ファイルの名前は、アイコンの右側に表示されています。文章ファイルの名前を修正する場合、ファイル名のところを一回クリックすると、編集のすることができるようになります。ただし、元のファイルの名前は変更されませんので、新しい名前のコピーファイルが保存されます。

・ファイルの順番の修正

ファイルの順番の修正は、ドラッグアンドドロップによって行うことができます。

なお、ファイル名が書かれていない空白の行に持っていくと、スクリプトが最終行に移動します。

また、スクリプトファイルを選択した状態で、「Up (アップ)」、「Dn (ダウン)」のボタンをクリックすることで順番を変更することもできます。

・各ボタンの説明

Save RL : **Save Runlist (再生リストを保存)** ダイアログボックスを開きます。

Load RL : **Load Runlist (再生リストを読み込む)** ダイアログボックスを開きます。

Remove : 選択したファイルを Runlist (再生リスト) から削除します。

しかし、元のファイルは PC 上から削除されません。

Display : PC から選択したファイルを読み込み、文章編集画面へ表示します。

Up : 選択されたファイルの順番を一つ繰り上げます。

Dn : 選択されたファイルの順番を一つ繰り下げます。

メニューバーの「File(ファイル)」内の機能

New Runlist (新規再生リスト)

「New Runlist (新規再生リスト)」で、現在の再生リストを閉じ、新規の再生リストを開きます。

新規再生リストの開き方

- File (ファイル) メニューの「New Runlist (新規再生リスト)」をクリックします。

追加する複数の文章ファイルは、**Open (開く)** ダイアログの中から選ぶことができます。

そして、**CTRL (コントロール)** キーを押したままファイルを選択すると、「**File Name (ファイル名)**」のところにそのファイル名が引用して表示されます。



初期設定では、「**Open (開く)**」コマンドを使うたびに、再生リストの内容がすべて変更されます。

[Preferences \(詳細設定\)](#) で、**Add opened scripts to runlist (再生リストにスクリプトを追加)** の設定を行うと、「**Open (開く)**」コマンドを使うと、再生リストの一番後ろに文章ファイルを加えることができるようになります。

Add opened scripts to runlist (再生リストにスクリプトを追加) を有効にする方法

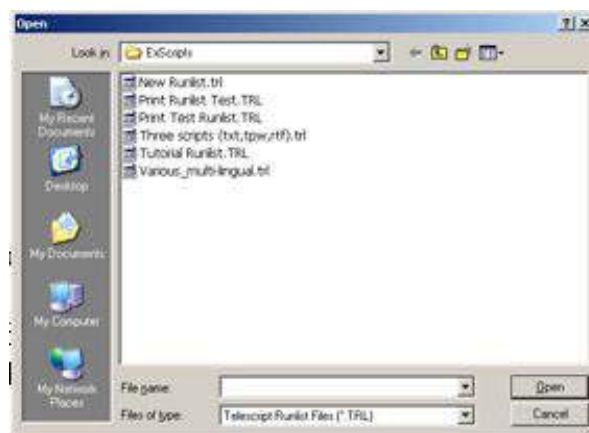
1. **Tools (ツール)** メニューの **Preferences (詳細設定)** をクリックします。
2. **Preferences (詳細設定)** ダイアログの **Misc** タブをクリックします。
3. 「**Runlist**」の枠の、「**Add opened scripts to runlist**」のチェックボックスにチェックを入れ、「**OK**」をクリックします。

Load Runlist (再生リストを読み込む)

再生リストは、ファイルとして読み込むことができます。TelescriptAV では、**TRL ファイル (Telescript Runlist File)** というフォーマットが使用されています。ほかの Telescript 製プログラムの「**Telescript PRO**」や「**Telescript MOS Gateway**」でも、同じファイル形式が使われております。

再生リストの読み込み方

1. **File (ファイル) メニューの Load Runlist (再生リストを読み込む)** をクリックします。
2. 右図のようなダイアログが現れますので、開く **TRL ファイル** を選択して「**Open**」をクリックします。
3. 保存されていた TRL ファイルが、Runlist ウィンドウに表示されます。



注 : **Add opened scripts to runlist (再生リストにスクリプトを追加)** の設定になっていると、**Load Runlist (再生リストを読み込む)** のコマンドは有効になりません。

Save Runlist/ Save Runlist As (再生リストを上書き保存/名前を付けて保存)

現在の再生リストをファイルとして保存することができます。

前項にある通り、TelescriptAVでの保存ファイル形式は **TRL** ファイルとなります。

再生リストの保存するためには、「**Save Runlist (上書き保存)**」か「**Save Runlist As (名前を付けて保存)**」の2種類のコマンドを使用します。

「**Save Runlist**」では、現在の再生リストでの編集を、元の TRL ファイルに上書きして保存します。

「**Save Runlist As**」では、ファイル名を入力して保存するためのダイアログボックスが開かれ、現在の再生リストを、TRL ファイルとして、新しく名前を付けて保存します。

現在の再生リストを上書き保存する方法

1. **File (ファイル)** メニューの **Save Runlist (上書き保存)** をクリックします。
2. 既存のファイルが存在しない、新規の再生リストだった場合、**Save Runlist As (名前を付けて保存)** の時と同じように、下図のようなダイアログボックスが表示されます。

Save Runlist As (名前を付けて保存)

「**Save Runlist As (名前を付けて保存)**」を選択すると、右図のようなダイアログが表示されます。

ダイアログには、ファイル名やフォルダー名が表示されます。ここでは、Telescript Runlist Files(*.TRL)の形式のみ選択できます。



Save As (名前を付けて保存) ダイアログの使い方

1. **File (ファイル)** メニューの **Save Runlist As (名前を付けて保存)** をクリックします。
2. **名前をつけて保存ダイアログ**が開かれるので、保存場所を選択肢、保存するファイル名を入力してください。
3. 「**Save (保存)**」をクリックすると保存されてダイアログが閉じ、「**Cancel (キャンセル)**」をクリックすると保存されずにダイアログが閉じます。

メニューバーの「Prompter (プロンプター)」内の機能

PRV (戻る) / NXT (進む)

PRV (戻る) と NXT (進む) コマンドで、再生リスト内の文章を切り替えることができます。これらのコマンドは、編集画面またはプロンプター再生時のみ有効です。

PRV (戻る) と NXT (進む) のコマンド表示方法

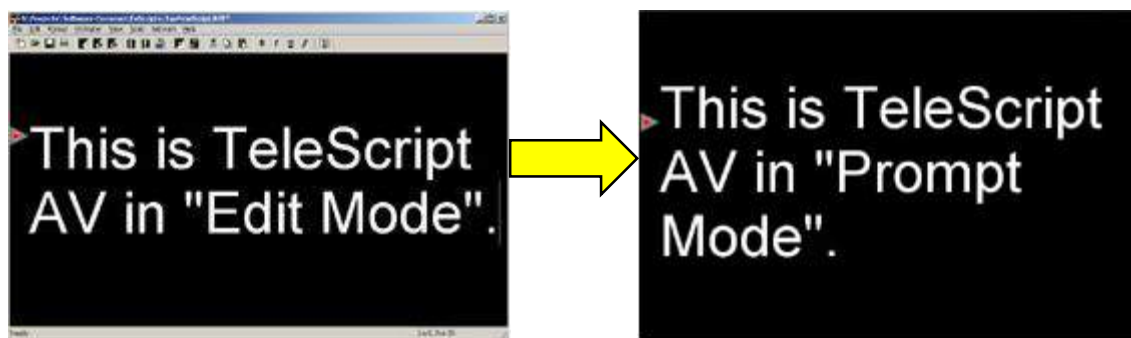
コマンド	PRV (戻る)	NXT (進む)
Prompter メニュー	Prev	Next
キーボード操作	<ALT + F8>	<ALT + F9>
コントローラー操作	PRV ボタン	NXT ボタン

文章を再生する（プロンプター再生）

Prompt Mode（プロンプター再生モード）への切り替え

「Prompt Mode（プロンプター再生モード）」に切り替わると、メインウィンドウ上のタイトルバー、ツールバー、スクロールバーやステータスバーが非表示になります。（Preferences（詳細設定）で auto-hide（自動非表示）設定を有効にしている場合）

アプリケーションウィンドウが最大化し、プロンプター側には全画面でスクリーンに映し出されるようになります。



全画面プロンプター再生モードへの切り替え方

1. **TeleScriptAV** のウィンドウの右上にある、**最大化ボタン**をクリックしてウィンドウを最大化します。
2. **Prompter（プロンプター）** メニュー上で、**Prompter** をクリックするか<**F5**>キーを押すと、プロンプター再生モードに切り替わります。
3. <**F3**>キーを押すと、**Edit（編集）** モードに切り替わります。

プロンプター側の画面に、Windows のタスクバーが表示され、邪魔になる場合、タスクバーが非表示なるよう、Windows の「Keep on Top（常に前面に表示）」を無効にします。

ウィンドウズタスクバーを非表示にする方法

1. タスクバーを右クリックし、「**プロパティ**」をクリックします。
2. 「タスクバー」タブ内の「**タスクバーを常に前面に表示する**」のチェックを外して無効にするか、「**タスクバーを自動的に隠す**」にチェックを入れます。
3. 「**OK**」または「**適用**」をクリックすると、設定が適用されてダイアログが閉じます。「**キャンセル**」をクリックすると、設定は適用されず、そのままダイアログが閉じます。

プロンプターをコントローラーで操作する

プロンプターを、様々なデバイスで操作することができます。

使用できるコントロールデバイスは、外付けの Telescript の 10 ボタンコントローラー「**Serial Hand Control**」、画面スクリーンに映し出すソフトウェアである「**Dialog Control**」、Windows に互換性のある PC 用マウス、そしてその他のデバイスがあります。

また、コントロールデバイスは、スクロールを中断することなく交換することができます。それぞれのデバイスが持つ性能的メリットなどは、下記をご参考ください。

・ Serial Hand Control (シリアルハンドコントローラー)

Telescript 社製 **Serial Hand Control** は、9 ピンのシリアルポートからコンピューターに接続する外付けのハードウェアです。手の操作で、素早く・簡単にプロンプターのスクロールを操作することができます。(*Serial Hand Control* の機能詳細につきましては、[Serial Controller](#) の項にてご確認ください。)

TelescriptAV の起動時、コンピューターに接続されているコントロールデバイスが最高 9 つまで自動で検出されます。ソフトの起動後にコントローラーを接続する場合、以下の手順によってデバイスを検出します。

全てのコントローラーを自動検出させる方法

1. **Tools** (ツール) メニューの **Preferences** (詳細設定) をクリックします。
2. **Preferences** ダイアログの「**Prompter** (プロンプター)」タブをクリックします。
3. 「**SpeedControl** (スピードコントロール)」の下にある、「**Find All Controllers** (全てのコントロールデバイスを検出する)」のボタンにチェックし、「**OK**」をクリックします。

Serial controller に切り替える場合、**Prompt Mode** (プロンプター再生モード) 中にコントローラーの緑のボタンを押してください。「[コントローラーの調整について](#)」の項にて、コントローラーの切り替えについて詳細が記載されていますのでそちらをご覧ください。

• Dialog Control (ダイアログコントロール)

Dialog Control (ダイアログコントロール) では、スクリーン上でクリックして操作できるコントローラーです。

ダイアログコントロールには2種類のサイズがあり、**Full サイズコントロール**では、シリアルハンドコントローラーと同等の働き、**Mini サイズコントロール**では、プロンプターのスタート・ストップ、スピードのコントロールのみコントロールすることができます。

ダイアログコントロールの機能詳細につきましては、「[Dialog Controller \(ダイアログコントローラー\) について](#)」の項で説明をしていますので、そちらをご覧ください。

Dialog Control (ダイアログコントロール) の表示方法

1. **Tools (ツール) メニューの Preferences (詳細設定)** をクリックします。
2. **Preferences ダイアログの「Prompter (プロンプター)」タブ**をクリックします。
3. 「**Display on-screen controller (スクリーン上にコントローラーを表示する)**」にチェックを入れ、「**OK**」をクリックします。

このコントローラーに切り替える場合、**Prompt Mode (プロンプター再生モード)** 中にコントローラーの**緑(GO)ボタン**を押します。「[コントローラーの調整について](#)」の項にて、コントローラーの切り替えについて詳細が記載されていますのでそちらをご覧ください。

• Mouse Control (マウスでの操作)

Windows に互換性がある標準的なマウスを使うことができます。

マウスでプロンプターを操作する場合の詳細は、「[Mouse Scroll \(マウスのスクロール操作\) について](#)」の項で説明されていますので、そちらをご覧ください。

• Third-Party Devices (その他のデバイスでの操作)

市販されているその他のデバイスでも、TeleScriptAV でプロンプターの操作をすることができます。セットアップの方法は、それぞれのデバイスによって異なりますが、基本的な操作方法はどれもキーボード操作やマウス操作、その他のコマンドによって構成されます。

推奨するその他のデバイスは以下になります。

- **Contour Shuttle Pro or SpaceShuttle A/V**
- **Griffin PowerMate**

・コントローラーの調整

上記に挙げた全てのコントロールデバイスは、同時にPCに接続することができますが、操作可能なコントローラーは一つだけです。デバイスごとに、プロンプター再生方法が異なります。下記をご参照ください、

注意：文章のスクロールを中断せずに、コントロールデバイスを切り替えることはできますが、コントロールデバイスによってスピードの設定が異なるのでご注意ください。

各コントロールデバイスのプロンプターの操作方法：

・ Serial Control (シリアルハンドコントローラー)

緑色の「GO」ボタンを押します。プロンプターがスクロールすると、スピードの調整はコントローラーにあるつまみで行います。

・ Dialog Control (ダイアログコントローラー)

緑色の「GO」ボタンを押します。プロンプターがスクロールすると、スピードの調整は、ダイアログコントローラー上の左側にあるスピードインジケーターで、文章のスクロールのスピードを調整します。

・ Mouse (マウスでの操作)

マウスのカーソルをウィンドウ上で、上方向に動かし、マウスのスクロールボタン (ホイール) を押すか、<ALT+F6>を押します。文章がスクロールされたとき、マウスポインタの位置によってスクロールのスピードを調整します。

▪ ダイアログコントロール

Dialog Control (ダイアログコントロール)は、画面上に表示されるプロンプター用のコントローラーです。

ダイアログコントロールを表示する手順 :

1. まず「Tools」メニューの中の「Preferences [詳細設定]」をクリックする。
2. 次に「Preferences (詳細設定)」の中の、「Prompter (プロンプター)」をクリックする。
3. そして「Display On-Screen Controller」のチェックボックスにチェックを入れ、「OK」を押す。

ダイアログコントロールは、他の全てのウィンドウの中で最前面に表示されています。よって、別のプログラムを起動した際にも、コントローラーは表示し続けます。

全ての windows のトップにダイアログコントロールを保持する方法 :

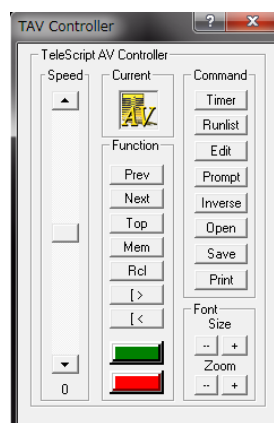
1. まず「Tools」メニューの中の「Preferences」をクリックする。
2. 「Preferences」の中の、「Prompter」をクリックする。
3. 「Keep controller on top」のチェックボックスにチェックを入れ、「OK」を押す。

フルコントロールとミニダイアログコントロール

ダイアログコントロールには2つの種類があります。

1つ目は、Full Control (フルコントロール) といって [左] TeleScript 製の シリアルハンドコントローラー と同じように、スタート、ストップ、スピード調整、メモリーマーカー、ブックマークコマンド、Runlist (再生リスト) のショートカットがあります。

2つ目は、Mini Control (ミニコントロール) といって [右]、スタート、ストップ、スピード調整の項目のみ表示されています。小さいウィンドウで操作できるので、プロンプタースクロールの邪魔にならずに使用できます。



コントロールタイプの選び方 :

1. まず「Tools」メニューから、「Preferences (詳細設定)」をクリックする。
2. 次に「Preferences」の中から「Prompter」をクリックする。
3. そして「Full Dialog Control」または「Mini Dialog Control」を選択し、「OK」を押す。

フルコントロールの機能表です。

なお、スタート、ストップ、スピード調整は、ミニコントロールでも行うことができます。

ボタン	機能
Speed	スクロールのスピードを調節します。クリックするかスライダーを上下に動かすことで、スピードを調整できます。スライダーの下にある番号はスピードの数値です。(0~127)
Current	現在のアイコンの場所が表示されます。
Prev	Runlist (再生リスト) の前の文章に移動します。
Next	Runlist (再生リスト) の次の文章に移動します。
Top	文章の1番上にジャンプします。
Mem	プロンプターウィンドウに表示されている文章の一番上に、 MEM マーカーを置きます。
Rcl	MEM マーカーが設置された場所にジャンプします。
[>	次の ブックマーク にジャンプします。
[<	前の ブックマーク にジャンプします。
GREEN	プロンプターのスクロールを開始します。
RED	プロンプターのスクロールを停止します。
Timer	タイマー のウィンドウを開きます。
Runlist	Runlist (再生リスト) ウィンドウを表示します。
Edit	文章編集モードにします。
Prompt	プロンプター再生モードにします。
Inverse	Inverse コマンドと同じ機能です。(色の反転)
Open	Open (ファイルを開く) ダイアログボックスを開きます。
Save	保存コマンドを実行します。
Print	印刷 ダイアログボックスを表示します。
Font Size	Grow/Shrink Font (フォントの拡大/縮小) コマンドと同じ機能です。 - (マイナス) ボタンで文字サイズが小さくなり、+ (プラス) ボタンで大きくなります。
Font Zoom	+ (プラスマイナス) ボタンでスクリプト全体を ズーム します。

・マウスコントロール

ウィンドウズの互換性のある標準的なマウスであれば、スタート、ストップ、そしてスピード調整/スクロール方向などの、プロンプターの主要な機能进行操作するために使用できます。

Start Scrolling (スクロールを開始する)

マウスを使ってスクロールを開始する方法

- ・マウスホイールか、ミドルマウスボタン (ある場合) をクリックする。
もしくは
- ・ Prompter (プロンプター) メニューの、Mouse Scroll (マウススクロール) をクリックする。
もしくは
- ・ <CTRL+F6> を押す。

文章がすでにスクロール再生している場合、ミドルマウスボタンもしくはマウスホイールを使って、コントロールデバイスを切替えます。

Speed/Direction Control (スピード/方向調整)

スクロールが開始されると、マウスカーソルの最初の位置のスピードが、0 (ゼロ) 地点になります。その位置からカーソルを遠くに up (速く) 動かすとスクロールの速さが速くなります。カーソルを down (下) に動かすとスピードが遅くなります。

スクロール中、スクリプトウィンドウ内の黄色か緑色の矢印が、表示されています。

マウスカーソルによって、スクロール方向を逆向きにすることもできます。

※左から、Neutral (ニュートラル)、Forward (上向きスクロール)、Reverse (下向きスクロール)



Stop Scrolling (スクロールを停止する)

マウスのいずれかのボタン、もしくは<F7>ボタンをクリックするとスクロールが止まります。

プロンプターウィンドウの外側で、マウスカーソルを動かしても、スクロールは止まらないので注意してください。

・シリアルコントローラー

TeleScript 製、10 ボタン式シリアルハンドコントローラーは、スタート、ストップ、スクロールスピードのほかにも、機能のショートカット、ブックマーク、メモリーマーカー、そして色の反転などの操作があります。


(Tele Script LT を過去にご使用いただいた方へ : Tele Script LT シリアルコントローラーは Tele Script AV と全て同じです。)



コントローラーはPCの9ピンシリアルポートに接続できます。PCにシリアルポートが無い場合、コンバーターを使用してください。TeleScript AV 開始後、シリアルコントローラーを自動的に検出します。

コントローラーの検出に成功したら、緑のLEDライトが光ります。コントローラーが見つからない場合、[Controlling the Prompter \(プロンプターの操作方法\)](#) の項目に従って検出してください。

下記は、コントローラーのボタンと操作のリストです。

 KNOB	スクロールのスピードを調節します。ノブを時計回りに回すとスクロールのスピードが速くなり、反対周りに回すとスクロールのスピードが遅くなります。ノブを真ん中の0の位置から遠くに回せば回すほど動きのスピードが上がります。
[↑]	前のブックマークにジャンプします。
[↓]	次のブックマークにジャンプします。
PRV	Runlist (再生リスト) の前の文章にジャンプします。
NXT	Runlist (再生リスト) の次の文章にジャンプします。
RCL	最後にメモリーマーカーを置いた場所にジャンプします。メモリーマーカーを置いていない場合は文章の一番上にジャンプします。
GREEN	プロンプターのスクロールを開始します。スピードと方向は上記に記した通りノブの位置に依存します。矢印はプロンプターの状態を示します。黄色は「ニュートラル」で、緑色は「スクロール中」という意味です。
MEM	ウィンドウの一番上の行にメモリーマーカーを置きます。
RED	スクロールを止めます。矢印は「停止」を示す「赤」に変わります。
BLUE	ウィンドウ一番上の行にブックマークを挿入します。
BLACK	文章の背景の色と文字の色を反転します。

メニューバーの Prompter (プロンプター) 内のコマンド

・モードの切替 (Prompter/Editor)

Tele Script AV には、Edit (編集) モードと Prompt (プロンプター再生) モードの 2 つの異なるモードがあります。

Edit (編集) モードは、ウィンドウ上にツールバー、タイトルバー、メニュー、ステータスバーなどが見られ、設定によっては Runlist (再生リスト) ウィンドウが表示されていることもあります。

Prompt (プロンプト) モードは、メニューバーなどがなく、設定によっては Runlist (再生リスト) ウィンドウも隠れた状態になっています。

どちらのモードでも、すべての機能を使うことができます。たとえば、Edit (編集) モードでプロンプターをスクロールしたり、Prompt (プロンプト) モードでテキストを編集することもできます。

モードを切替る方法は下記のとおりです。

Prompt Mode (プロンプトモード)

- ・ <F5> キーを押す。
- もしくは
- ・ 「Prompter」メニューから、「Prompter」をクリックする。



Edit Mode (編集モード)

- ・ <F3> キーを押す。
- もしくは
- ・ 「Prompter」メニューから、「Editor」をクリックする。
- もしくは
- ・ 「Context Menu」を右クリックしてから、「Editor」をクリックする



・ GO/STOP コマンド

Go (進める) コマンドはプロンプターのスクロールを開始させ、Stop (止める) コマンドはスクロールを止めます。この2つのコマンドは Prompter (プロンプター) メニュータブ内にあります。

Go(進める)と Stop (止める) は、様々なコマンドで操作することができます。

コマンドの方法	Go [進む]	Stop [止める]
プロンプターメニュー	Go	Stop
キーボード	<F6>	<F7>
シリアル/ダイアログ コントロール	緑ボタン	赤ボタン
マウス	真ん中のボタン (ホイール)	全てのボタン

・ 前/次 (PREV/NXT)

PRV(前)と NXT(次) コマンドで、Runlist(再生リスト)の文章の表示を切替えます。この2つのコマンドは「Edit」モードでも「Prompt」モードでも使うことができます。

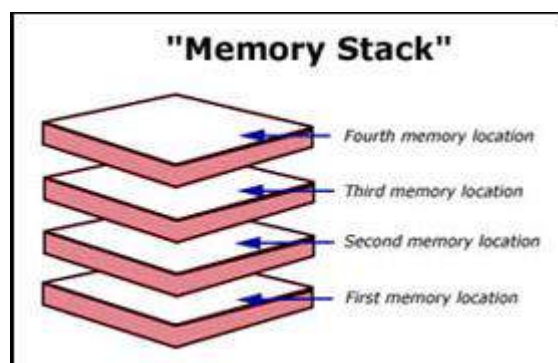
PRV(前)と NXT(後) は、様々なコマンドで操作することができます。

コマンドメニュー	PRV [前へ]	NXT [次へ]
プロンプターメニュー	Prev	Next
キーボード	<ALT+F8>	<ALT+F9>
コントローラー	PRV ボタン	NXT ボタン

メモリ/ブックマークの呼び出し MEM/RCL

MEM と RCL の機能は TeleScript の使用者にとっては、なじみのある機能ですが、TeleScript AV では、ほかの TeleScript の商品のプログラムとは少し異なります。

重要な違いはスタックメモリ (*Memory Stack*) の考え方にあります。スタックメモリは、食器棚にあるお皿のように重ねられていると想像してください。新しいメモリが追加される度に、1番上に新しい皿が置かれていくようなイメージです。メモリがひとつ抜き出されると、積み重ねられたお皿から一つ取り除かれるようなイメージです。



以下にそれぞれのメモリの機能がどのように動作するかを示します。

MEM-Push <F8>

このコマンドで、プロンプターの文章の一番上の位置を記憶させ、その位置にスタックメモリを置きます。

MEM-Clear <CTRL+F8>

全てのメモリ位置を解除します。

RCL-Go To <F9>

メモリスタックの1番上の場所に移動し、コマンドが呼び出される度にその場所が保存されます。

RCL-Pop <CTRL+F9>

メモリスタックの1番上の場所に移動するが、その場所はメモリスタックから削除されます。

1番上のメモリ場所が削除されますので、2番目のメモリスタックが一番上になります。

ブックマーク

Tele Script AVには、複数のブックマークの機能があります。

Set Bookmark <F10>

カーソルの位置にブックマークを挿入します。ブックマークの記号は、自由に編集することができます。(ブックマーク表示時)

Next Bookmark <F10>

次のブックマークにジャンプします。現在の位置より後にブックマークがない場合” no more bookmark (ブックマークがありません) ” と表示されます。

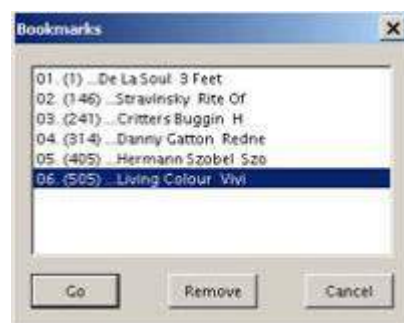
Previous Bookmark <CTRL+F11>

前のブックマークにジャンプします。現在の位置より前にブックマークがない場合” no more bookmark (ブックマークがありません) ” と表示されます。

Go To Bookmark <CTRL+F10>

Bookmarks (ブックマーク) ウィンドウを表示します (右図参照)

それぞれのブックマークには、ブックマークが置かれている場所の順番で番号が割り当てられています。ブックマークが設置された行の始めの文章が少し表示されています。



Show/Hide Bookmarks <ALT+F10>

ブックマークの表示非表示を切り替えます。ブックマークが表示されているとき、文字同様に編集することができます。

Clear All Bookmarks <CTRL+ALT+F10>

全てのブックマークの位置を消去します。実行する前に確認用ダイアログボックスが表示されます。

トップコマンド

Top(トップ)コマンドを使うことで、文章のスクロールの位置や符号の場所に戻ることができます。

Top(トップ)コマンドを呼び出す方法

- ・「**Prompter (プロンプター)**」メニューの中の「**Top (トップ)**」をクリックする。
もしくは
- ・[ダイアログコントロール](#)の中の「**Top (トップ)**」ボタンをクリックする。
もしくは
- ・**<CTRL+HOME>**を押す。
もしくは
- ・[シリアルコントローラー](#)の「**RCL**」を押す。(MEMがまだ使われていない場合)

また、文章が1つしかRunlist(再生リスト)にない場合、**PRV** と **NXT** コマンドを押すと、文章の先頭に戻ります。

マウスコントロール

ウィンドウズに互換性のある標準的なマウスなら、スタート、ストップ、そしてスピード調整/スクロールの向きなどの、プロンプターの主要な機能进行操作するために使用できます。

Start Scrolling (スクロールを開始する)

マウスを使ってスクロールを開始する方法

- ・マウスホイールか、ミドルマウスボタン (ある場合) をクリックする。
もしくは
- ・ Prompter (プロンプター) メニューの、Mouse Scroll (マウススクロール) をクリックする。
もしくは
- ・ <CTRL+F6> を押す。

文章がすでにスクロール再生している場合、ミドルマウスボタンもしくはマウスホイールを使って、コントロールデバイスを切替えます。

Speed/Direction Control (スピード/方向調整)

スクロールが開始されると、マウスカーソルの最初の位置のスピードが、0 (ゼロ) 地点になります。その位置からカーソルを遠くに up (速く) 動かすとスクロールの速さが速くなります。カーソルを down (下) に動かすとスピードが遅くなります。

スクロール中、スクリプトウィンドウ内の黄色か緑色の矢印が、表示されています。

マウスカーソルによって、スクロール方向を逆向きにもできます。

※左から、Neutral (ニュートラル)、Forward (上向きスクロール)、Reverse (下向きスクロール)



Stop Scrolling (スクロールを停止する)

マウスのいずれかのボタン、もしくは<F7>ボタンをクリックするとスクロールが止まります。

プロンプターウィンドウの外側で、マウスカーソルを動かしても、スクロールは止まらないので注意してください。

Start Scrolling (スクロールを開始する)

マウスを使ってスクロールを開始する方法

- ・ マウスホイールか、ミドルマウスボタン (ある場合) をクリックする。
- もしくは
- ・ Prompter (プロンプター) メニューの、Mouse Scroll (マウススクロール) をクリックする。
- もしくは
- ・ <CTRL+F6> を押す。

文章がすでにスクロール再生している場合、ミドルマウスボタンもしくはマウスホイールを使って、コントロールデバイスを切替えます。

Speed/Direction Control (スピード/方向調整)

スクロールが開始されると、マウスカーソルの最初の位置のスピードが、0 (ゼロ) 地点になります。その位置からカーソルを遠くに up (速く) 動かすとスクロールの速さが速くなります。カーソルを down (下) に動かすとスピードが遅くなります。

スクロール中、スクリプトウィンドウ内の黄色か緑色の矢印が、表示されています。

マウスカーソルによって、スクロール方向を逆向きにすることもできます。

※左から、Neutral (ニュートラル)、Forward (上向きスクロール)、Reverse (下向きスクロール)



Stop Scrolling (スクロールを停止する)

マウスのいずれかのボタン、もしくは<F7>ボタンをクリックするとスクロールが止まります。

プロンプターウィンドウの外側で、マウスカーソルを動かしても、スクロールは止まらないので注意してください。

印刷について

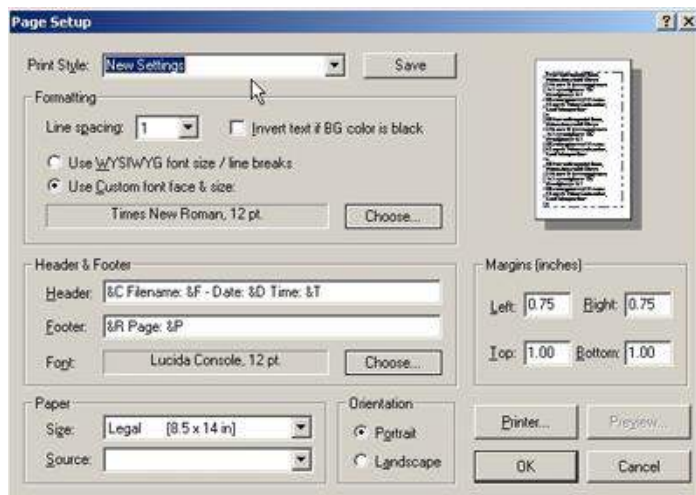
Page Setup (ページのセットアップ)

Page Setup (ページのセットアップ) のダイアログボックスには、スクリプトの印刷設定ができます。

(右図)

一度使用した設定は **Print style** (プリントの方法) として保存することができます。

ダイアログボックス詳細は下記をご参照ください。



Print Style (印刷スタイル)

ページセットアップのダイアログの内の設定は、

「.XPS」ファイルという形式で、「Print Style (印刷スタイル)」として、.EXE ファイル内の同じフォルダーに保存されます。ダイアログの上部、「Print Style [印刷スタイル]」のカーソルを開くと、保存した設定のファイル名が表示されます。

- 現在の設定を保存するためには「**Save (保存)**」をクリックします。Print Style 内のファイルは、XPS 形式のファイルが表示されています。
- 新しい設定を作るには、PrintStyle に新しい名前で作成するか、Print Style のリストから <New > を選びます。
- Print Style を消すには、プログラムフォルダーから該当する.XPS ファイルの形式のものを消し、TeleScript AV を再起動します。

Formatting (書式設定)

Line Spacing (文字の行間)

印刷するページの行間を、WYSIWYG とカスタムモードで設定できます。[Line spacing](#) (行間隔の編集) の項目と同じ要領で設定できます。

Invert Text if BG color is black (色の反転)

この欄にチェックを入れると、背景が黒色、文字が白色の場合に、色の反転をして印刷することができます。

Use WYSIWYG font size/line breaks (WYSIWYG フォントサイズ/改行を利用する)

WYSIWYG(ウィジウィグ)とは、”What You See Is What You Get” (見たままが得られる) の頭文字をとったものです。このモードでは、改行やフォント設定が、プロンプター上での見た目と同じように印刷することができます。

注1 : 空白設定によって、何行のテキストをページに合わせるかを決定します。左右の空白の量がすくないほど、ページにおさまる文字の量が増えます。

注2 : このモードでは、長い文章の場合、印刷やプレビューにかかる時間が長くなります。

システム的环境にもよりますが、2時間以上読み込みにかかる場合もあります。

Use Custom font face & size (フォントフェイスやサイズをカスタムする)

スクリプトで使用されているフォントフェイスを上書きし、印刷用に別のサイズを指定することが可能です。この選択をすると、指定したフォント名とサイズは下に表示され、「Choose (選択)」ボタンが有効になります。

「Choose (選択)」ボタンをクリックすると、フォントフェイスやサイズを選べるダイアログが開かれます。



Header & Footer (ヘッダーとフッター)

Header (ヘッダー)

この欄に入力する文章は、ヘッダー部分に印刷されます。下記のコードを使用して、日付などを表示することもできます。

Footer (フッター)

この欄に入力する文章は、フッター部分に印刷されます。下記のコードを使用して、日付などを表示することもできます。

Font (フォント)

ヘッダーとフッターに印刷されるときフォントフェイスやポイントサイズを見られます。「Choose (選択)」ボタンをクリックすると顧客のフォントフェイスやサイズを選べるフォント選択のダイアログが開かれます。(上図)

Special Characters (ヘッダー・フッター用コード)

下記の表は、ヘッダーとフッターに使用できる、フォーマットのコードです。

&F	スクリプトのパスとファイル名
&f	スクリプトのファイル名
&D	月/日/年の形で表示される今日の日付
&T	12 時間形式で表示される現在の時間
&U	スクリプトが最後に更新された時間
&P	ページ番号が印刷される
&&	&記号の性質
&L	左に揃える (デフォルト)
&C	ページの中央に寄せる
&R	右に揃える

Margins (余白)

Left (左), Right (右), Top (上), Bottom (下) の余白で、印刷されない部分の範囲を指定することができます。インチで値を入力します。

Paper (紙)

「Paper」内の「Paper Size [紙サイズ]」の項目で印刷紙のサイズを選択できます。「Paper Source」では印刷機のペーパートレーを選択できます。これらの設定はプリンターの環境によって異なるため、Print Style の保存機能には適用されません。より具体的な詳細については、ご使用のプリンターの取扱説明書をご確認ください。

Orientation (印刷の向き)

Portrait : 紙を垂直に印刷します。

8 $\frac{1}{2}$ × 11サイズのページを印刷すると、上が8 $\frac{1}{2}$ で、左端が11になります。

Landscape : 紙を水平に印刷します。

8 $\frac{1}{2}$ × 11サイズのページを印刷すると、上が11で左端が8 $\frac{1}{2}$ になります。

Print Preview(プリントプレビュー)

右図は Print Preview (プリントプレビュー) ウィンドウです。

「[Page Setup](#) (ページセットアップ)」のプリント設定を使い、印刷プレビューを表示します。余白は青い点線で表示されます。

プリントプレビュー機能の使い方：

1. Page Setup (ページセットアップ) メニューから「print settings」を選択します。
2. 「File」メニューから「Print Preview」をクリックします。
3. 「Print Preview」ダイアログを開きます。

ダイアログ内の機能は下記をご参照ください。

< (Previous Page)

前のページをプレビュー画面に表示します。

Go

ページ番号を入力することができます。

ページを表示するにはエンターキーを押すか Go ボタンをクリックします。

> (Next Page)

次のページを表示します。

Show Margins

現在の余白 (青の点線の部分) の表示をトグルします。

Page Setup

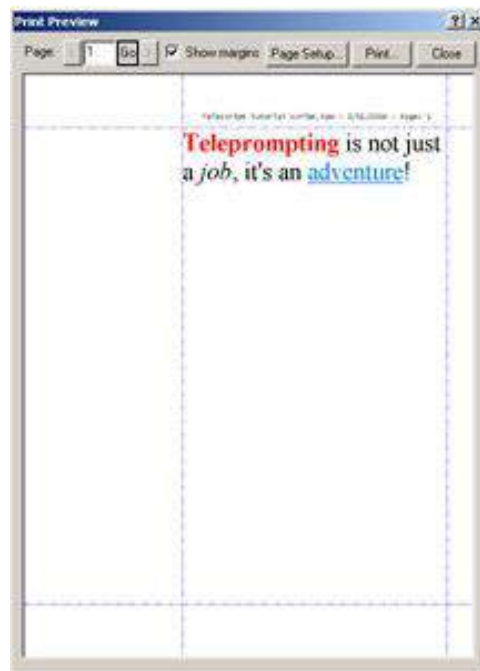
プレビューダイアログを消してページセットアップを開きます。

Print

プレビューダイアログを消してプリントダイアログを開きます。

Close

プリントプレビューダイアログを閉じます。



スクリプトを印刷する

「Print」コマンドで、[Page Setup \(ページのセットアップ\)](#) で設定した文章を印刷することができます。このコマンドをクリックすると印刷用ダイアログが開きます。(印刷ダイアログはお使いの Windows のバージョンによって異なります。)

「Page Setup [ページのセットアップ]」で最後に設定した状態で印刷されます。

スクリプトを印刷する方法：

1. 「File」メニューから、「Print」を選択します
2. 印刷設定ダイアログが表示されます。適切な設定をして印刷をおこなってください。

Preferences (詳細設定)

様々なプログラムの詳細設定は Preferences (詳細設定) ダイアログボックスで行うことができます。

「Preferences (選択)」ダイアログボックスの開き方：

- ・「Tools」メニューから、「Preferences」をクリックする。

Script1 (スクリプトの設定 1)

「Preferences (詳細設定)」ダイアログの中の「Script (スクリプト)」タブには、スクリプトの読み込み、表示、その他のデフォルトの設定があります。

スクリプト選択のタブを表示する：

1. 「Tools」メニューの「Preferences」をクリックする。
2. 「Preferences」ダイアログの「Script」タブをクリックする。

以下に「Script (スクリプト)」タブの設定の詳細を示します。

Script Save Options (文章保存オプション)

Save if changed

文章に変更がある場合、文章を閉じる際の保存確認ダイアログボックスの表示を有効にします。

Confirm on overwrite

ファイルを上書きする際の、確認ダイアログボックスの表示を有効にします。

Default Script Path

読み込みやスクリプトファイルの保存に使用される、デフォルトのフォルダーを設定します。

Browse ボタンをクリックするか、その欄にパスを入力すると、フォルダーを参照できます。

Bookmarks (ブックマーク)

Hide bookmarks in new scripts

ブックマークテキストを挿入する際、文中には非表示にします。Hide/Show ブックマークコマンドで、表示非表示を切り替えることができます。

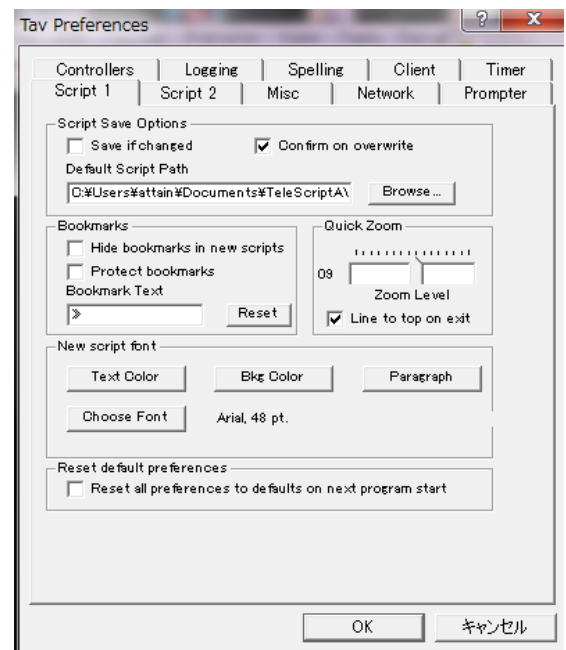
Protect bookmarks

ブックマークの属性を保護することができます。

Bookmark Text

ブックマークで使うための文字や記号を入力できます。

リセットボタンで、デフォルトに戻します。



New Script Font (新しいスクリプトのフォント)

Text Color (文字の色)

デフォルトの文字色を設定します。

Bkg Color (背景の色)

デフォルトの背景色を設定します。

Paragraph (パラグラフ)

デフォルトのインデントの調整、文字の位置、文字の間隔などの調整ができます。

Choose Font (フォントの選択)

デフォルトのフォントを設定できます。

Reset default preference (詳細設定をすべてデフォルトに戻す)

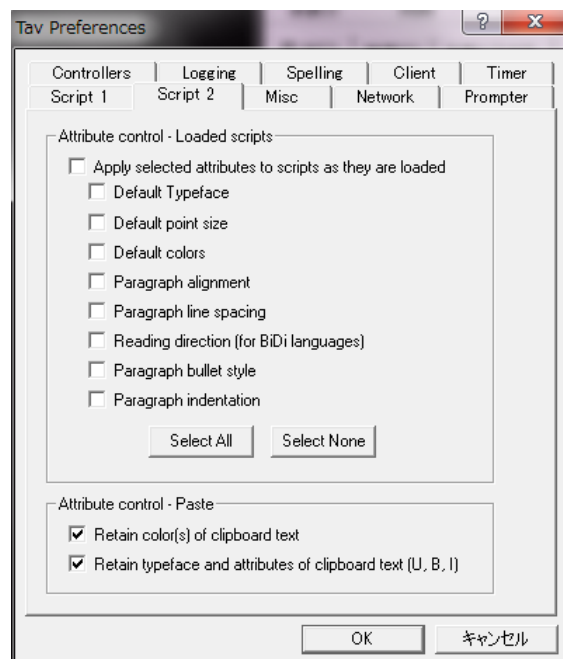
次に起動する際に、すべての詳細設定を初期状態に戻す

Script 2 (スクリプトの設定 2)

各種チェックボックスにチェックを入れて設定できます。

Attributes control-Loaded scripts (文書読み込み時の設定)

Apply selected attributes to scripts as they are loaded	すべて適用する
Default Typeface	デフォルトの書体
Default point size	デフォルトの文字サイズ
Default Colors	デフォルトの色
Paragraph alignment	段落の位置
Paragraph line spacing	段落の行間
Reading direction (for BiDi languages)	読む方向 (BiDi 言語用)
Paragraph bullet style	パラグラフの文頭スタイル
Paragraph indentation	パラグラフの字下げ
Select All	すべて選択
Select None	すべて解除



Attribute control- Paste (文字をペーストする際の設定)

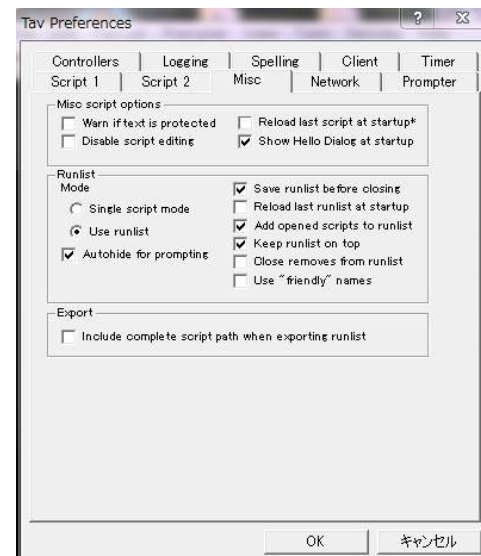
Retain color(s) of clipboard text	クリップボードの文字色を保持する
Retain typeface and attributes of clipboard text (U, B, I)	クリップボードの文字のスタイルと属性を保持する

Misc (さまざまな設定)

以下に「Misc」タブ内では、チェックボックスにチェックを入れて設定をすることができます。

Misc Script options (文章のさまざまな設定)

Warn if text is protected	テキスト保護時に警告を表示します。
Disable script editing	文章の編集を非有効にします
Reload last script at startup*	起動時に前回使用した文章を表示します。
Show Hello Dialog at Startup	起動時にハローダイアログを表示します。



Runlist [再生リスト]

Single script mode	シングルスクリプトモード
Use runlist	Runlist(再生リスト)モード
Autohide for prompting	プロンプター再生時に自動的に非表示にする
Save runlist before closing	閉じる際に Runlist (再生リスト) を保存する
Reload last runlist at startup	起動時に前回使用した再生リストを表示します。
Add opened scripts to runlist	開いた文章を再生リストに追加する
Keep runlist on top	再生リストを最前面に表示する
Close removes from runlist	再生リストから削除したものを非表示
Use "friendly" names	使いやすい名前を使用する

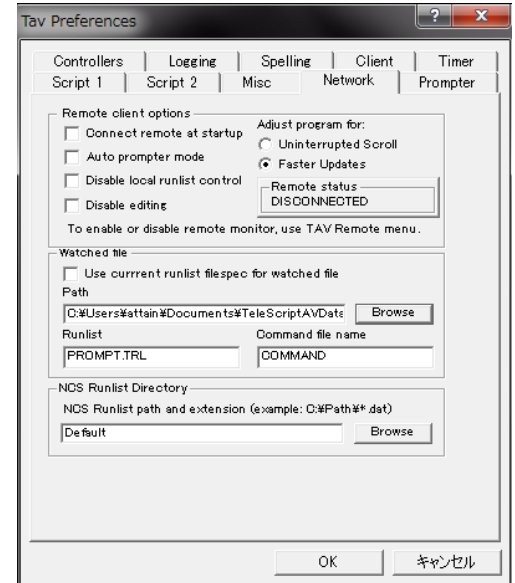
Export [エクスポート]

Include complete script path when exporting runlist	スクリプトをエクスポートする際、すべてのスクリプトパスを含む
---	--------------------------------

Network (ネットワーク)

Remote client options (遠隔操作オプション)

Connect remote at startup	起動時にリモート接続する
Auto prompter mode	自動プロンプターモード
Disable local runlist control	ローカルの再生リストを無効にする
Disable editing	編集を無効にする
Remote status: DISCONNECTED/CONNECTED	リモート状況: 非接続/接続
To enable or disable remote monitor, use TAV Remote menu.	遠隔モニターを無効にする場合は、メニューバーの Remote から設定を行ってください。



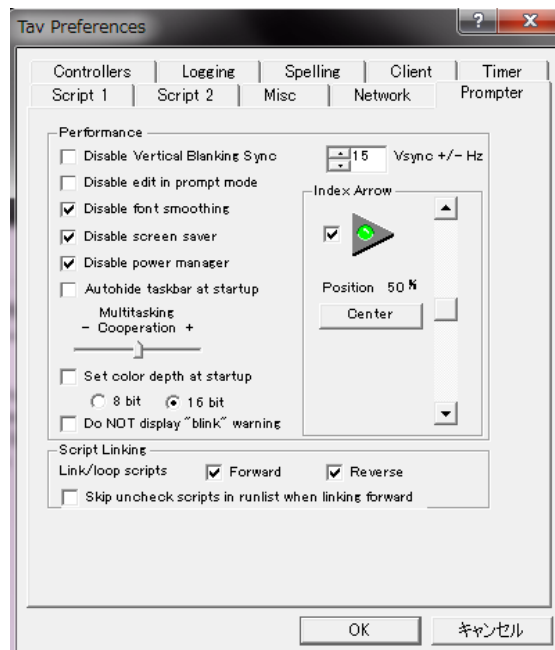
Watched the (閲覧について)

Use current runlist file spec for watched file	ファイル閲覧時に、現在の再生リストのファイルスペックを使用する
--	---------------------------------

Prompter (プロンプター)

Performance (パフォーマンス)

Disable Vertical Blanking Sync	垂直帰線の同期を無効にする
Disable edit in prompt mode	プロンプター再生モード時での編集を無効にする
Disable font smoothing	Font smoothing を無効にする
Disable screen saver	スクリーンセーバーを無効にする
Disable power manager	パワーマネージャーを無効にする
Autohide taskbar at startup	起動時にタスクバーを自動的に隠す
Multitasking Cooperation	マルチタスク提携
Set color depth at startup	起動時の色の深さ (8bit/ 16bit)
Do NOT display "blink" warning	警告ディスプレイを表示しない
Index Arrow	インデックス矢印



Script Linking [スクリプトのリンク]

再生リストをリンクさせると、1つの文章がすべてスクロールし終わると、次のスクリプトの再生が自動的に始まります。

Link/Loop Script	スクリプトのリンク/ループ
Forward	上から順に再生
Reverse	前の文章に戻る
Skip uncheck scripts in runlist when linking forward.	「上から順に再生」に設定時に、再生リスト内のチェックのついていない文章をスキップする

ログの設定

Preferences 内の「Logging (ログ)」では、プログラムの「log file (ログファイル)」の設定ができます。このファイルは、プログラムの動作診断などに用いることができます。

Log to file (ファイルのログをとる)

Info

“informational(情報提供)”をしたときのログをとる

Errors

プログラムエラーが起こった時のログをとる

Remote

ネットワーク情報とネットワークエラーが起こった時のログをとる

Debug

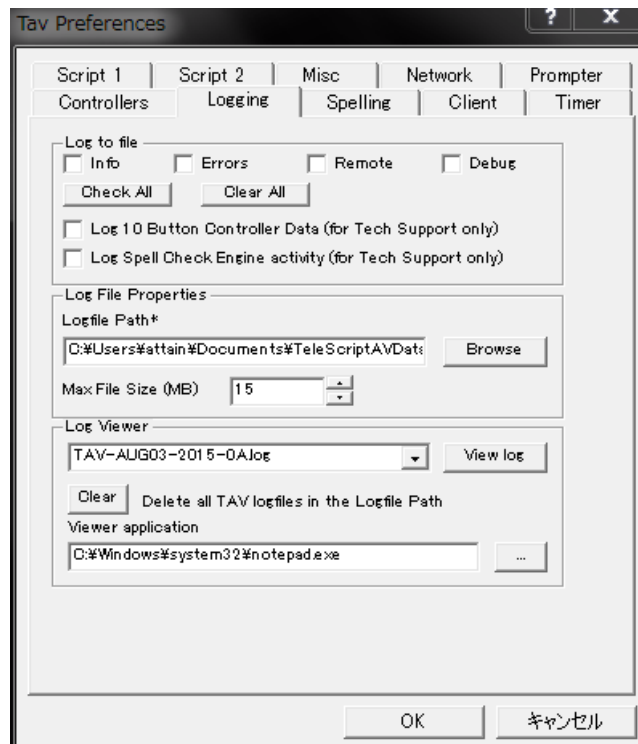
デバック情報のログをとる

Check All

上の4つの選択肢 (Info, Errors, Remote, Debug) 全てのチェックボックスにチェックを入れる。

Clear All

上の4つの選択肢 (Info, Errors, Remote, Debug) 全てのチェックボックスチェックを外す。



Log File Properties (ログファイルプロパティ)

Logfile Path

ログファイルが作られたフォルダーを表示します。フォルダーを選択するには 'Browse' ボタンを使うか、欄の中にパスを入力します。

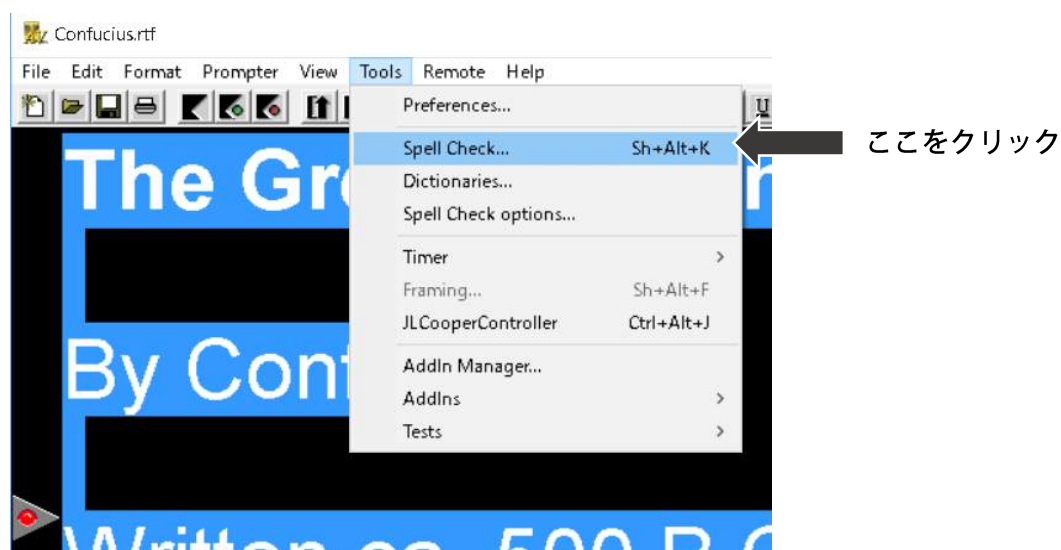
Max File Size (MB)

1つのログファイルの最大のサイズ (メガバイト) を設定します。

Advanced Tools（便利なツール）

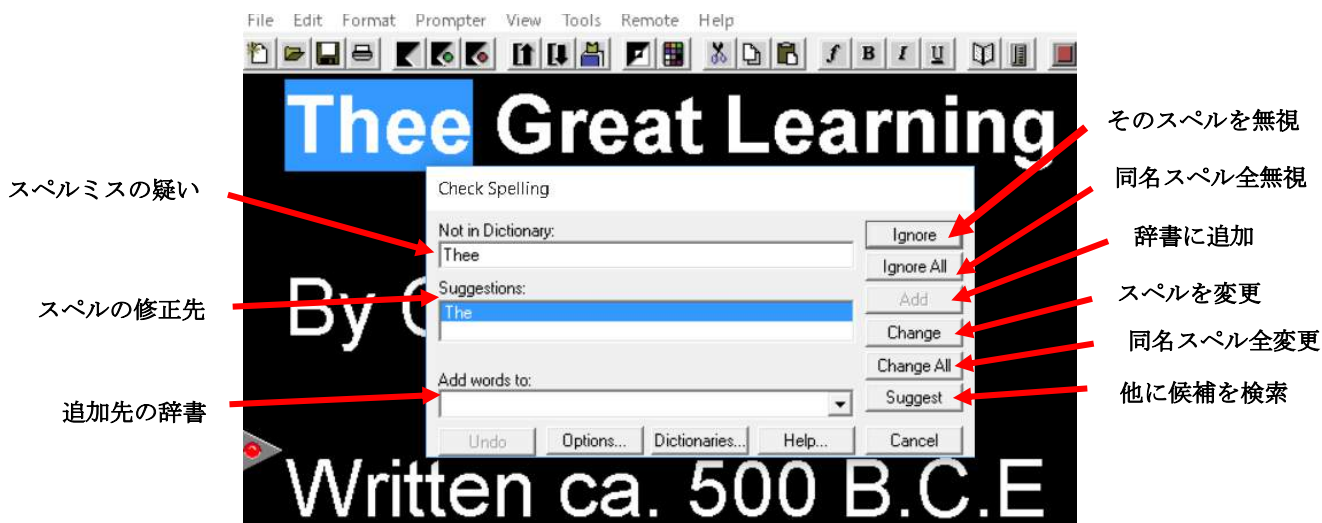
Spell Check(スペルチェック)

1. スペルチェックしたいスクリプトの一部を選択します。（<CTRL + A>を押すことでスクリプト全体を選択できます。）
2. メニューバーの[Tools]タブの[spell check]をクリックします



チェックを必要とするワードが検出された場合、チェックインスペルダイアログが表示されます（下の画像）。単語を無視または交換するかどうかを指定するためのダイアログを使用できます。（ダイアログ変化でいくつかのボタンとテキストボックスのラベルはコンテキストに応じて注意してください）

Check Spelling Dialog (スペルチェックダイアログボックス)



Not in Dictionary (辞書に未記載)

辞書にないスペルミスの単語が検出されたことを示します。このボックス内の単語を編集したり、リストから候補を選択することができ、その単語を修正するときは[Change]ボタンをクリックします。または単語をスキップするときは[Ignore]ボタンをクリックします。

Ignore button (無視ボタン)

このスペルミスをスキップします。同じスペルの単語が後で表示された場合は、再度報告されます。

Ignore All button (全無視ボタン)

このスペルミスをスキップします。また、以降に同じスペルが出てきたときには再度報告されずにスキップされます。

Suggestions list (提案リスト)

スペルミスとして報告されたスペルに対する、提案された代替スペルのリストです。

Add button (追加ボタン)

例えばあなたの家族名などの、正しいはずのスペルが頻繁にスペルミスとして検出された場合は、このAdd button (追加ボタン) を使用することでスペルミスと検出されたスペルを選択した辞書に追加することができます。

Change button (変換ボタン)

Not in Dictionary に表示されている報告されたスペルミスの部分を、Suggestions list(提案リスト)の中のスペルに変換します。

Change All button (全変換ボタン)

Not in Dictionary に表示されている報告されたスペルミスの部分を、Suggestions list(提案リスト)の中のスペルに変換し、さらに以降の文章にある同じスペルミスの部分も同様に変換します。

Add Words To list (追加されるワードリスト)

Add button (追加ボタン) を使用するとき、スペルが追加される辞書の場所を指定します。Add Words To list(追加されるワードリスト)の中には現在開いているすべてのユーザー辞書を表示しています。

あなたが新たに別の辞書を開いたり、辞書ボタンを選択することによってアクセス可能である辞書ダイナログを介して他の辞書を閉じることもできます。

Suggest button (提案ボタン)

スペルミスの単語のために提案された代替スペルをより徹底的に検索します。Suggest button (提案ボタン) を押すたびに深い検索が行われます。提案された代替スペルがすべて突き詰められた場合、このボタンは無効になります。

Undo button (元に戻すボタン)

最後に行った変更を削除します。最後のいくつかの変更を削除するには、何回か押すことで戻すことができます。

Undo Edit button (編集を元に戻す)

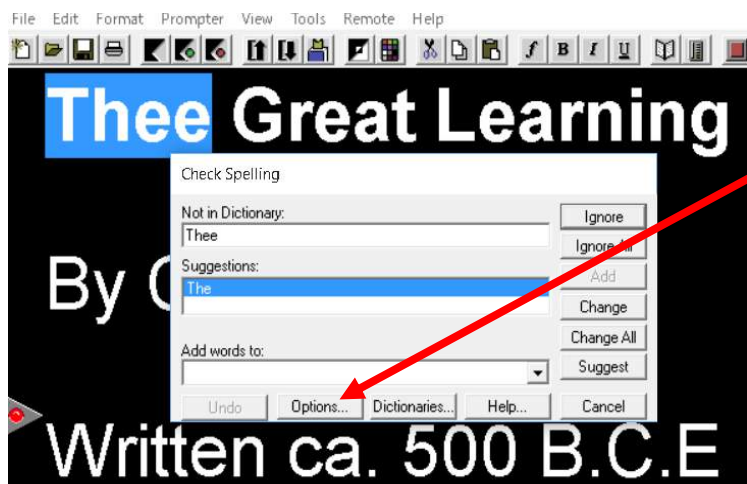
問題のあるボックス内のテキストに加えた変更を削除します。このボタンは問題ボックス内のテキストが変更された場合にのみ表示されます。

Delete button (削除ボタン)

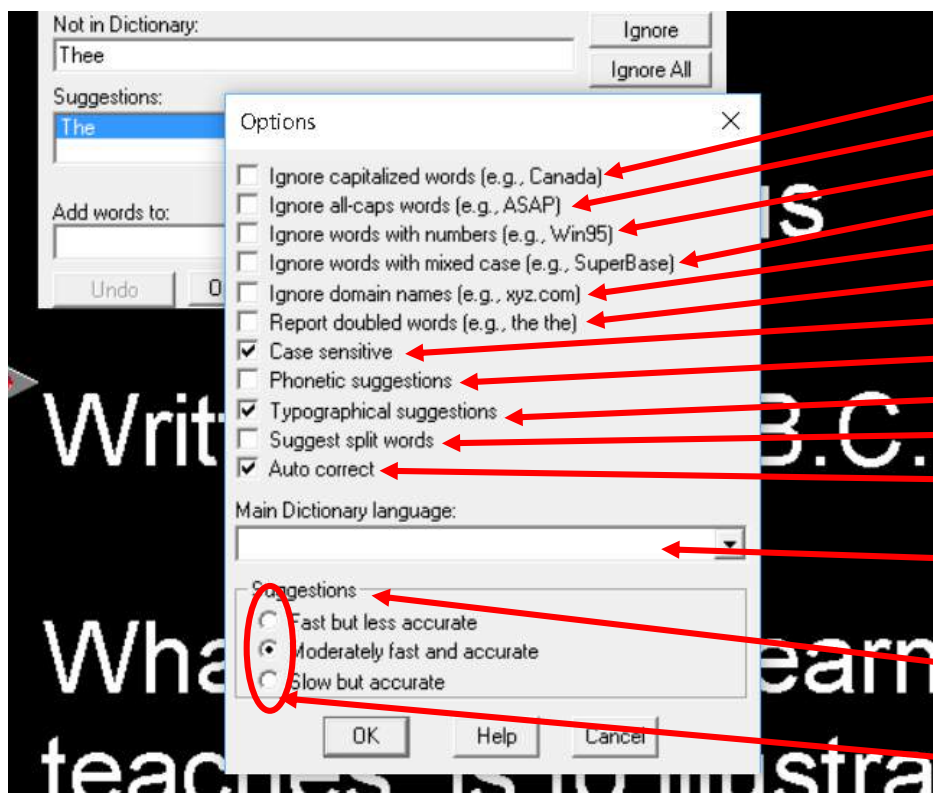
テキストから単語を削除します。このボタンはダブル単語が検出された、または問題ワードボックスの内容が削除されたとした場合に表示されます。

Options Dialog (オプションダイアログ)

[オプション]ダイアログにより様々なスペルチェッカーのオプションを指定できます。



ここをクリックすると
以下のオプションダイ
アログが表示



- 大文字で始まる単語を無視
- 大文字を含む単語を無視
- 数字を含む単語を無視
- 大・小文字の混合単語を無視
- ドメイン名を無視
- 連続で同単語があると報告
- 大文字と小文字を区別
- 音により正しい語を提案
- データにより正しい語を提案
- 分割単語を提案
- オート修正
- 辞書の言語

検索の精度と速度の設定

- ・ 高速だが低精度
- ・ 適度に高速かつ正確
- ・ 低速だが高精度

Ignore Capitalized Words (大文字で始まる単語を無視)

このチェックを有効にすると、大文字で始まる単語はすべてスキップされます。文章に多くの固有名詞が含まれている場合は、このオプションを有効にすることがあります。

Ignore All-Caps Words (大文字を含む単語を無視)

このチェックを有効にすると、大文字を含む単語がすべてスキップされます。チェックされているテキストに多くの頭字語が含まれている場合は、このオプションを有効にすることがあります。

Ignore Words with Numbers (数字を含む単語を無視)

このチェックを有効にすると、『Win95』や『Q4』などの数字が埋め込まれた単語がスキップされます。多くのコードワードまたは数字を含むその他の記号が含まれている場合は、このオプションを有効にすることがあります。

Ignore Words with Mixed Case (混在ケースと単語を無視)

このチェックを有効にすると、MicroHouse や CapsLock などの大文字と小文字の混合物を含む任意の単語がスキップされます。

Ignore Domain Names (ドメイン名を無視)

有効にすると、wintertree-software.com などのインターネット・ドメイン名で表示される全ての単語はスキップされます。

Report Doubled Words (ダブルワードを報告)

有効にすると、文章中に 2 回連続で出現する単語を、スペルチェック・ダイアログを介して報告されます。

Case Sensitive (大文字と小文字を区別)

有効にすると、大文字と小文字を区別します。例えば、**canada** は **Canada** とは異なると考えられているので、**canada** はスペルミスとして報告されることとなります。このオプションを無効にすると **canada** と **Canada** は同一とみなされてスペルチェックのパフォーマンスが低下しますので注意してください。

Phonetic Suggestions (音により正しい語を提案)

有効にすると、音によりスペルミスの単語を予測して、正しいスペルの提案を表示してくれます (英語)。このオプションを有効にすると、検索に必要な時間が長くなります。

Typographical Suggestions (データにより正しい語を提案)

有効にすると、スペルミスの類似性に基づき、正しい語を提案してくれます。

Suggest Split Words (分割単語を提案)

有効にすると、例えば **isthe** などの 2 つの別々の単語が 1 つになってしまったスペルミスに対して、代替として **is the** が提案されます。

Auto Correct (オート修正)

有効にすると、「自動変更」アクションでマークされた単語は、自動的に指定された代替スペルに変更されます。無効にすると自動的に変更されず、変更するかどうかの要求が送られてきます。

Main Dictionary Language (メイン辞書言語)

このオプションでは、スペルチェックの際に使用されるメイン辞書の言語を設定することができます。リストには、システムにインストールされている言語のみを表示しています。別の言語でスペルチェックする際には、リストから言語を選択します。

Suggestions (提案)

スペルミスのために提案される、代替スペルの初期検索の精度と速度を決定します。スペルミス単語が検出されると、検索は自動的に行われます。以下の項目のどれかにチェックを入れて検索の精度・速度の設定を各自で行うことができます。

- **Fast but less accurate**

高速に検索可能だが精度は低い。

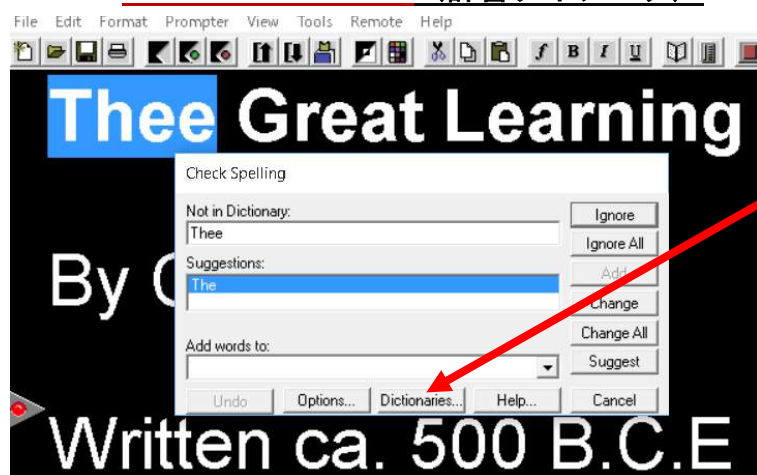
- **Moderately fast and accurate**

適度に高速かつ正確な検索が可能

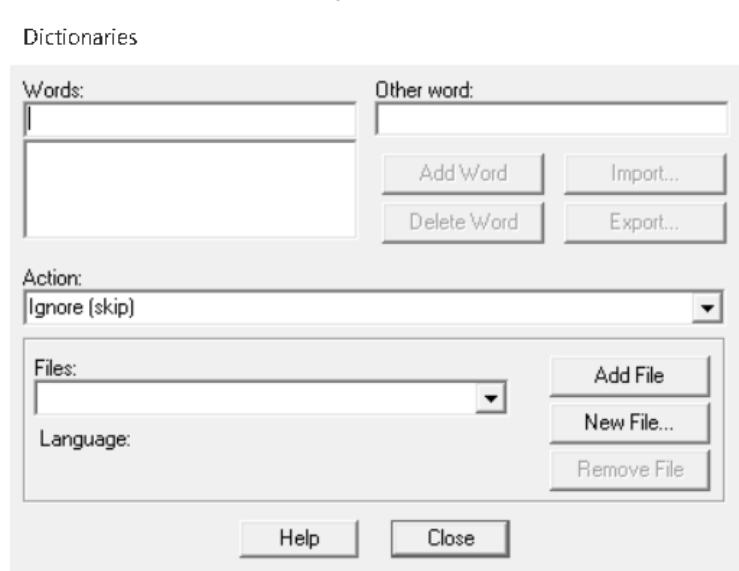
- **Slow but accurate**

検索速度は遅いが精度が高い検索が可能

Dictionaries button (辞書ダイアログ)



ここをクリックすると
以下の辞書ダイアログ
が表示



[辞書]ダイアログでは、ユーザー辞書を開くことができ、辞書の内容の編集を行うことができます。辞書の内容はディスクファイルに保存されます。また、いつでもすべてのユーザー辞書ファイルを開くことができます。開いている辞書はスペルチェック中に検索されます。

Action list (動作リスト)

辞書内の単語に関連付けられているアクションを選択するために使用します。アクションリストでは、辞書内の単語を見つけたときにどのようなスペルチェックを行えばいいかを指示します。下記の6つのアクションを選択することができます。

- **Auto change(use case of checked word)** 【自動変更 (チェック単語)】
- **Auto change (use case of other word)** 【自動変更 (他の単語)】
- **Conditionally change (use case of checked word)** 【条件付きの変更 (チェック単語)】
- **Conditionally change (use case of other word)** 【条件付きの変更 (他の単語)】
- **Exclude (treat as misspelled)** 【除外(スペルミスとして扱う)】
- **Ignore (skip)** 無視(スキップ)

Add File button (ファイルの追加ボタン)

ユーザー辞書ファイルを開きます。

[ファイルの追加]ボタンを選択すると、ダイアログが開き、開く辞書を選択することができます。開いている辞書ファイルのセットは記憶されます。一度辞書ファイルを追加したら、再度追加する必要はありません。新しいユーザー辞書を作成する必要がある場合は、New(新規)ボタンをクリックしてください。他のアプリケーションのユーザー辞書ファイルを開くこともできます。

Add Word button (単語追加ボタン)

編集領域に入力された単語を、現在選択されている辞書に追加します。
このボタンは、新しい単語が入力された際のみ作動します。

Close button (閉じるボタン)

Dictionary Dialog を閉じます。

Delete Word button (Word のボタンを削除)

編集領域に入力された語を、現在選択された辞書から削除します。

Export button (エクスポートボタン)

現在選択された辞書の内容を、テキストとして保存します。

[エクスポート]ボタンを選択すると、ダイアログが表示され、エクスポートするテキストファイルの名前を選択できます。

Files list (ファイルリスト)

辞書ファイルのリストが含まれています。リストからファイルを選択すると、その内容が単語リストに表示されます。

Import button (インポートボタン)

テキストファイル内に含まれる単語を、現在選択されている辞書に追加します。

Import [インポート]ボタンを選択すると、ダイアログが表示され、インポートするテキストファイルを選択することができます。選択したファイル内の各単語は、辞書にロードされます。容量が大きい単語リストをインポートするには時間がかかりますので注意してください。

Language (言語)

現在選択された辞書内の単語の言語（例えば、英語またはフランス語）が表示されます。

New button (新規ボタン)

新しいユーザー辞書ファイルを作成します。New Button(新規ボタン)を選択すると、新しい辞書の属性を指定するために使用することができるダイアログが表示されます。

Other Word box

現在選択された単語に関連する代替単語が含まれています。

その単語は、「Auto change」や「Conditionally change」で置換された単語です。

Other Word Box に複数の単語を入力することができますが、全体の長さは 63 文字に制限する必要があります。

Remove File button (ファイル削除ボタン)

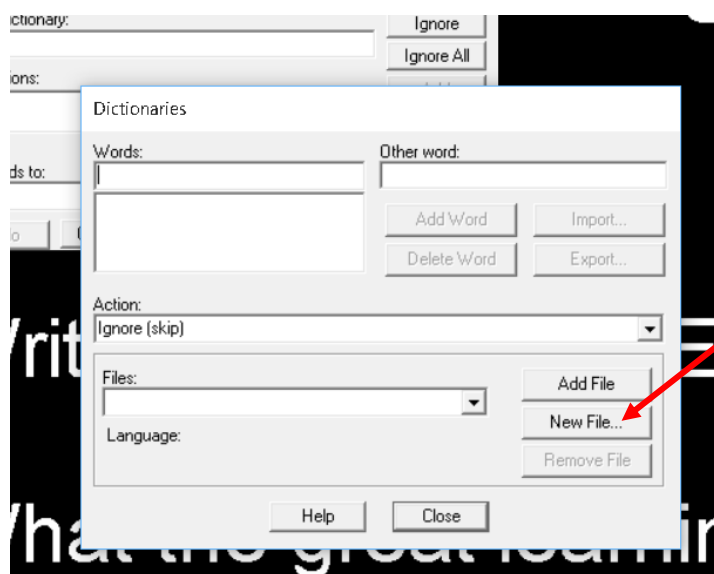
現在選択された辞書ファイルを閉じます。

閉じられた辞書はスペルチェック時に適用されません。ファイルが閉じられていますが、削除はされていません。閉じた辞書ファイルは、後で[ファイルの追加]ボタンを使用して再度開くことができます。

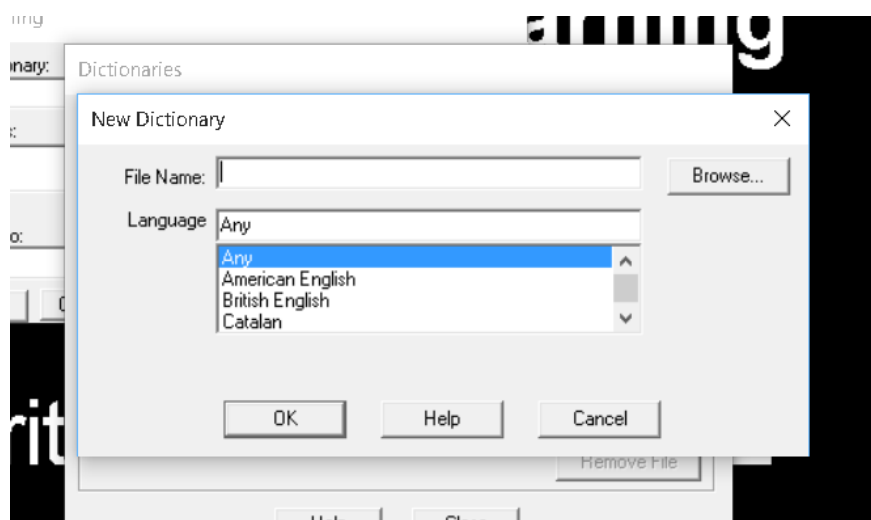
Words list(単語リスト)

現在選択しているユーザー辞書の単語のリストが含まれています。

New Dictionaries Dialog (新規辞書ダイアログ)



ここをクリックすると
以下の新しい辞書ダイ
アログが表示



新しいユーザー辞書の属性を指定できます。新しい辞書を作成してダイアログを閉じたい場合は OK ボタン。新しい辞書を作成せずにダイアログを閉じたい場合は Cancel ボタンをクリックします。

File Name box (ファイル名ボックス)

新しい辞書の内容を保持するために使用されるディスク・ファイルの名前が含まれています。名前をここに入力するか、他の辞書ファイルの名前を示すダイアログを表示するには、**Browse button** (参照ボタン) をクリックします。

Browse button (参照ボタン)

他のユーザー辞書ファイルの名前を示すダイアログが表示されます。このダイアログで、既存の辞書ファイルの名前を表示したり、新しい辞書ファイルの名前を入力できます。

Language list (言語リスト)

新しいユーザー辞書が含まれているスペルの言語 (例えば、フランス語や英語) を指定します。使用する言語が表示されない場合は、**Any** (任意) を選択します。

Timer (タイマー)

タイマーでは、ストップウォッチ、カウントダウン、現在時間を表示することができます。

- タイマーウィンドウを開くには

[Tools]メニューの[Timer]をクリックし、タイマーを表示します。



タイマーウィンドウが一度表示されたら、Option (オプション) ボタンをクリックして、タイマーのオプションを開いてください。モードの切り替え、スタート時間などが設定できます。

Timer Modes (タイマーモード)

タイマーには3つのモードがあります。

- **Stopwatch (ストップウォッチ)**

このモードでは開始時間からカウントします。

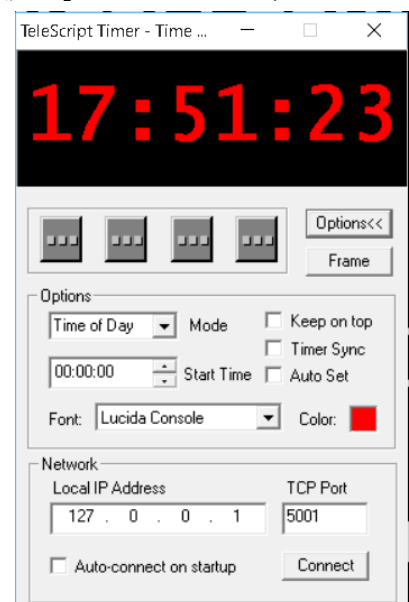
「タイマー同期」オプションは、このモードで動作します。

- **Countdown (カウントダウン)**

開始時間からカウントダウンされます。「タイマー同期」と「自動設定」オプションは、このモードで動作します。

- **Time of Day (現在時間)**

24 時間形式で時刻を表示します



Timer Options (タイマーオプション)

- **Mode (モード)**

モードを変更します。

- **Start Time (開始時間)**

タイマーがカウントを開始する時刻を変更します。

- **Keep On Top (常に前面に表示)**

他のプログラムに切り替えても、タイマーウィンドウは常に他のウィンドウの上に表示されます。

- **Timer Sync (時間の同期)**

このオプションをチェックすると、プロンプターの Go コマンドが押されたときにタイマーが開始します。「Stop」コマンドが押されたときに停止します。

- **Auto Set**

このオプションをオンにすると、自動的に再生リストの「Show Time」に開始時刻を設定します

Zoom (ズーム)

ズーム機能ですぐに、スクリプト全体をズームすることができます。

ズーム機能でズームしても、フォントサイズを変更したことにはならないので、ファイルを保存しても、ズームサイズは保存されませんのでご注意ください。

Grow/Shrink Font (フォントの拡大/縮小) コマンドを使用して、フォントサイズを変更することができます。

ズーム機能を使用するには

1. **View** メニューの **Zoom** をクリックします。
2. **Zoom** サブメニューから、”In”ボタンをクリックしてサイズを大きくすることができ、”Out”ボタンから小さくすることができ、”Normal”ボタンでは元のフォントサイズに戻すことができます。

キーボードでズームするには

- <CTRL+ ALT+右>でズームイン (拡大)。
- <CTRL+ ALT+左>でズームアウト(縮小)
- <CTRL+ ALT+ SPACE>で元のフォントサイズに戻る。

Full Command Reference (コマンド参照)

Context Menu (コンテキストメニュー)

TeleScript AV では、ソフトウェアのウィンドウ上で、マウスの右クリックボタンを押すと、右図のようなコンテキストメニューが表示されます。

コンテキストメニューでは、よく使う機能に簡単にアクセスできます。



キーボードコマンド

TeleScript で使用できる、キーボードコマンドを紹介します。

File	
New	Ctrl+N
Open...	Ctrl+O
Save	Ctrl+S
Print...	Ctrl+P
Exit	Alt+F4
Edit	
Undo	Ctrl+Z
Redo	Ctrl+Y
Cut	Ctrl+X
Copy	Ctrl+C
Paste	Ctrl+V
Delete	Del
Select All	Ctrl+A
Find...	Ctrl+F
Replace...	Ctrl+R
Format	
Font > Grow font	Sh+Ctrl+.
Font > Shrink font	Sh+Ctrl+,
Bold	Ctrl+B
Italic	Ctrl+I
Underline	Ctrl+U
Normal	Ctrl+Sh+SPACE
Attributes > Strikeout	Ctrl+Sh+K
Alignment > Left	Ctrl+Sh+L
Alignment > Center	Ctrl+Sh+C
Alignment > Right	Ctrl+Sh+R
Line Spacing > 1	Ctrl+1
Line Spacing > 1.5	Ctrl+5
Line Spacing > 2	Ctrl+2
Inverse	Ctrl+Sh+V

Prompter	
Prompter	F5
Editor	F3
Go	F6
Stop	F7
Prev	Alt+F8
Next	Alt+F9
MEM > Push	F8
MEM > Clear	Ctrl+F8
RCL > Go to	F9
RCL > Pop	Ctrl+F9
Bookmark > Set Bookmark	F10
Bookmark > Next Bookmark	F11
Bookmark > Prev Bookmark	Ctrl+F11
Bookmark > Go To Bookmark...	Ctrl+F10
Bookmark > Show/Hide Bookmarks	Alt+F10
Bookmark > Clear All	Ctrl+Alt+F10
Top	Ctrl+Home
Mouse Scroll	Ctrl+F6
View	
Zoom > In	Ctrl+Alt+Right
Zoom > Out	Ctrl+Alt+Left
Zoom > Normal	Ctrl+Alt+Space
Bars	F3
Runlist	F2
Tools	
Spell Check	Sh+Alt+K
Help	
Contents	F1